

高岳引込線の活用に関する アンケート調査結果のまとめ

目次

1. 調査概要	1
2. 調査結果	3
2.1 沿線住民へのアンケート調査結果	3
2.2 沿線企業等へのアンケート調査結果	49
2.3 桑・絹地域へのアンケート調査結果	57
2.4 市民等へのアンケート調査結果	66
2.5 調査結果のまとめ	76
参考資料	78
沿線の小中学校へのアンケート調査結果	78

1. 調査概要

(1) 調査の目的

- ・ 小山市の交通まちづくりの検討状況などを沿線住民等に情報発信する
- ・ 沿線住民・企業等の交通行動の実態および高岳引込線を活用した新交通システムの利用意向を把握し、概略需要を推計する
- ・ 高岳引込線沿線の地域イメージや将来像などを把握し、確保が望まれる都市機能のサービス内容・水準を深度化させる

(2) 調査の対象

- ・ 高岳引込線沿線の住民・企業等を対象【次頁図参照】
- ・ 事業に関する意見を幅広く把握するため、市内全域および市外居住者も対象

対 象	概 要			
沿線住民	沿線区域 (500~800m内) に居住する 15 歳以上の方全員 4037 世帯	駅東通り二丁目自治会 駅東通り三丁目自治会 城北自治会 鹿島向原自治会 泉崎自治会 土塔一自治会	犬塚自治会 中久喜自治会 竹親会自治会 丸山自治会 出井開拓自治会 下出井自治会	東出井自治会 泉ヶ丘自治会 小山東ニュータウン自治会 高専宿舎自治会 西山自治会
沿線企業等	企 業	東京鋼鐵(株) (株)UACJ 押出加工 美濃工業栃木(株)	富士通(株) (株)東光高岳 イオン	トーテックサービス(株) トーメダヤ(株)
	学 校	小山高専 白鷗大学		
桑・絹地区	桑・絹地区からデマンドバスを使って高岳引込線に乗継ぎが想定される方 9 人			
市民等	その他の地域に居住する 15 歳以上の方 145 人			
	市外居住者 90 人			

(3) 調査の内容

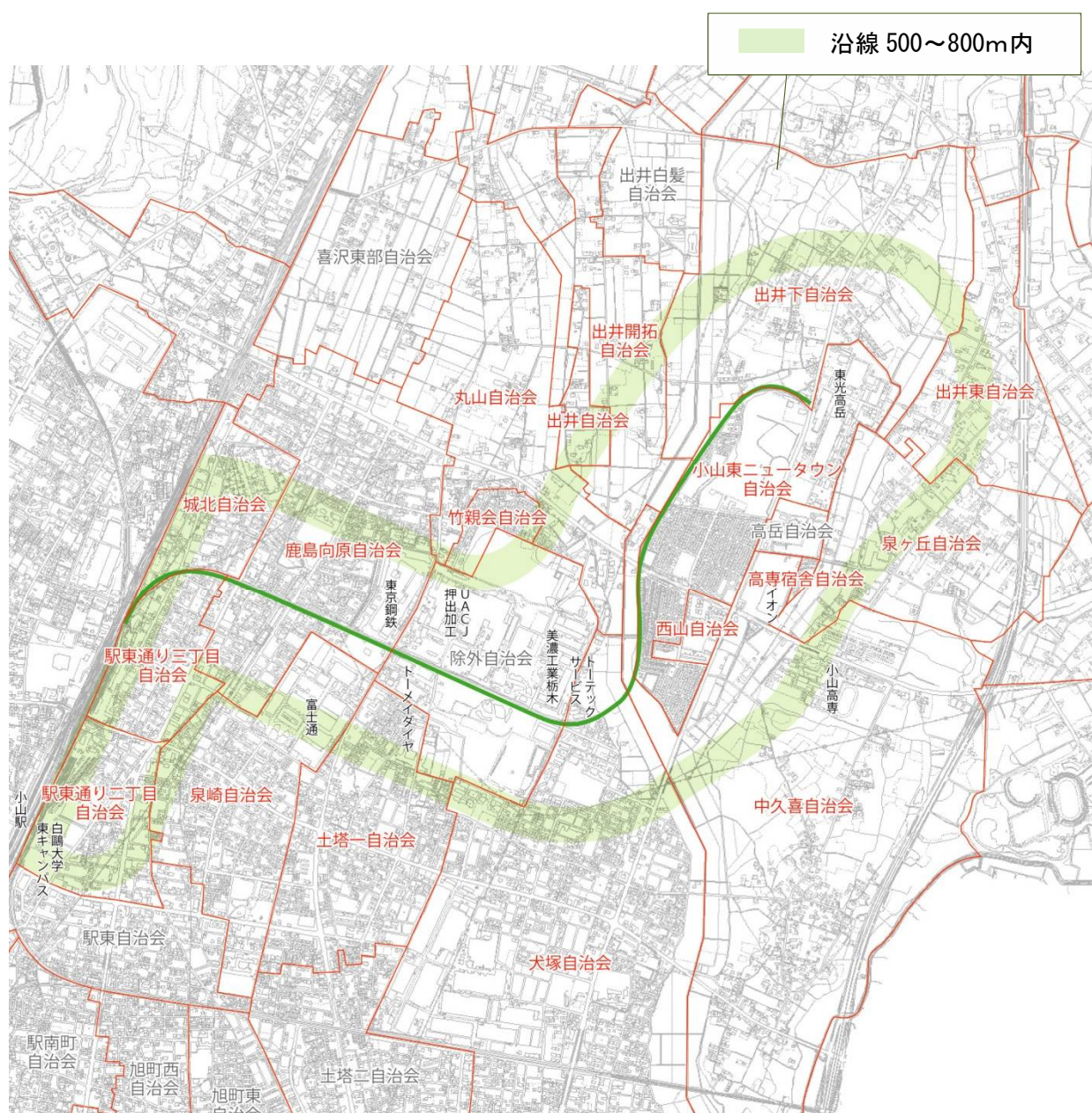
対 象	調査事項		
	個人属性	交通関連	まちづくり関連
沿線住民	居住地、性別、年齢、職業、運転免許の有無、自動車の有無	<input type="checkbox"/> 交通行動 (日常) <input type="checkbox"/> 公共交通としての高岳引込線の活用意向等	<input type="checkbox"/> 沿線地域の魅力と課題 <input type="checkbox"/> 期待する沿線地域の姿 <input type="checkbox"/> 今後必要な取り組み
沿線企業等		<input type="checkbox"/> 交通行動 (通勤・通学) <input type="checkbox"/> 公共交通としての高岳引込線の活用意向等	
桑・絹地域	居住地、性別、年齢	<input type="checkbox"/> 交通行動 (日常) <input type="checkbox"/> 公共交通としての高岳引込線の活用意向等	<input type="checkbox"/> 沿線地域の魅力
市民等		<input type="checkbox"/> 公共交通としての高岳引込線の活用メリット等	

(4) 調査の方法

- ・ 自治会の協力を得て沿線住民に配布、回収は郵送
- ・ 企業等には代表窓口などを通じて配布・回収
- ・ 桑・絹地域、市内全域には、小山高専との連携協定業務において実施

対 象	配布	回収
沿線住民	自治会長等を通じて調査票等を住民に配布	市役所宛ての封筒に調査票を入れてポストに投函
沿線企業等	企業・学校の総務等に聞き取り	
桑・絹地域	デマンドバス乗継拠点のイオンで聞き取り	
市民等	市の施設への来訪者に聞き取り（ロブレビルと小山市間々田市民交流センター）	

(5) 調査の時期： 2016年7月～9月



2. 調査結果

2.1 沿線住民へのアンケート調査結果

(1) 実施概要

- ① 調査日 2016年7月下旬～8月下旬
- ② 調査対象 高岳引込線沿線に居住する住民4,037世帯
- ③ 調査方法 自治会経由で配布、郵送回収
- ④ 調査内容
 - ・回答者の個人属性
(居住地、性別、年齢、職業、運転免許の有無、自動車の有無)
 - ・高岳引込線の沿線のまちづくりについて
(沿線地域の魅力、課題、思い描く今後の地域の姿、今後必要な取り組み等)
 - ・普段の外出について
(外出目的、頻度、交通手段、行き先)
 - ・高岳引込線に路面電車を走らせることについて
(運行条件、利用方法、運行メリット等)
- ⑤ 回収数 世帯：1,237 (回収率30.6%)、人数：2,656

地区	調査対象自治会	配布数 (世帯)	回収数 (世帯)	回収率 (%)
小山	1 駅東通り二丁目	604	106	17.5
	2 駅東通り三丁目	297	89	30.0
	3 城北	134	54	40.3
	4 鹿島向原	372	137	36.8
大谷	5 泉崎	10	4	40.0
	6 土塔一	522	112	21.5
	7 犬塚	511	136	26.6
	8 中久喜	176	43	24.4
	9 泉ヶ丘	45	21	46.7
	10 竹親会	85	29	34.1
	11 丸山	164	63	38.4
	12 小山東ニュータウン	800	335	41.9
	13 高専宿舎	18	9	50.0
	14 西山	37	5	13.5
桑	15 出井開拓	77	28	36.4
	16 下出井	93	42	45.2
	17 東出井	92	24	26.1
計		4,037	1,237	30.6

回答パターン	世帯	人数
1 1人の回答	298	298
2 2人の回答	600	1,200
3 3人の回答	207	621
4 4人の回答	93	372
5 5人の回答	33	165
白票・無効票	6	
	1,237	2,656

(2) 実施結果

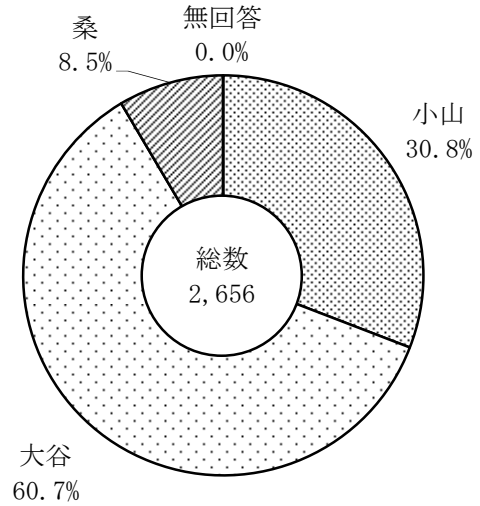
問1 世帯

(1) 住まい

① 地区

項目名	集計値	構成比 (%)
小山	819	30.8
大谷	1,611	60.7
桑	226	8.5
無回答	-	-
合計	2,656	100.0

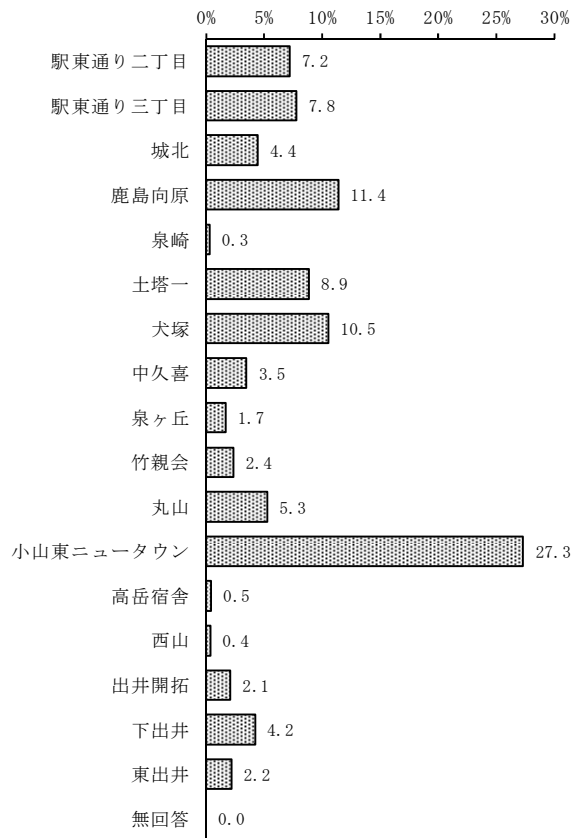
N=2,656



② 自治会

項目名	集計値	構成比 (%)
駅東通り二丁目	191	7.2
駅東通り三丁目	207	7.8
城北	118	4.4
鹿島向原	303	11.4
泉崎	8	0.3
土塔一	236	8.9
犬塚	279	10.5
中久喜	93	3.5
泉ヶ丘	45	1.7
竹親会	63	2.4
丸山	140	5.3
小山東ニュータウン	725	27.3
高岳宿舎	12	0.5
西山	10	0.4
出井開拓	56	2.1
下出井	112	4.2
東出井	58	2.2
無回答	-	-
合計	2,656	100.0

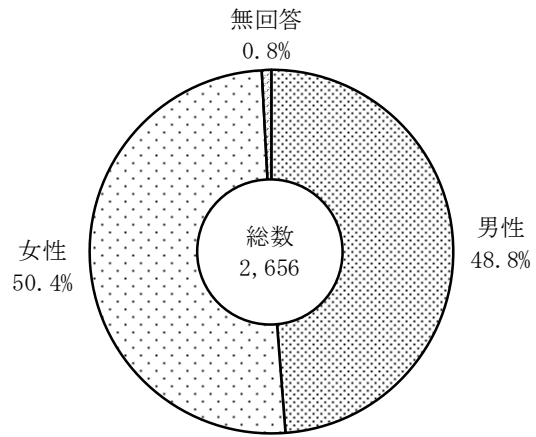
N=2,656



(2) 性別

項目名	集計値	構成比 (%)
男性	1,296	48.8
女性	1,338	50.4
無回答	22	0.8
合計	2,656	100.0

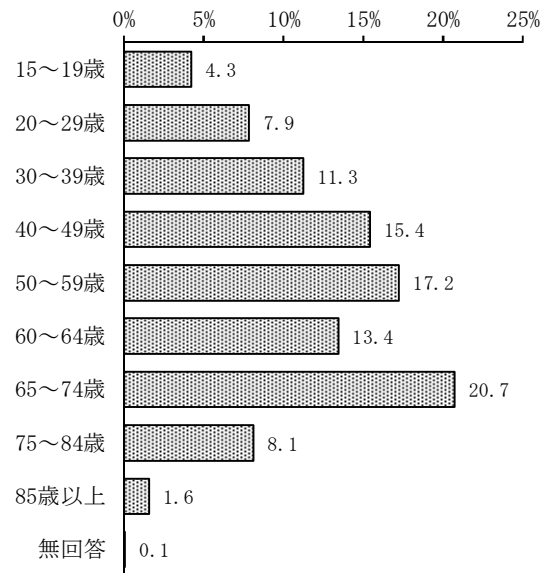
N=2,656



(3) 年齢

項目名	集計値	構成比 (%)
15～19歳	113	4.3
20～29歳	209	7.9
30～39歳	299	11.3
40～49歳	410	15.4
50～59歳	458	17.2
60～64歳	357	13.4
65～74歳	550	20.7
75～84歳	216	8.1
85歳以上	42	1.6
無回答	2	0.1
合計	2,656	100.0

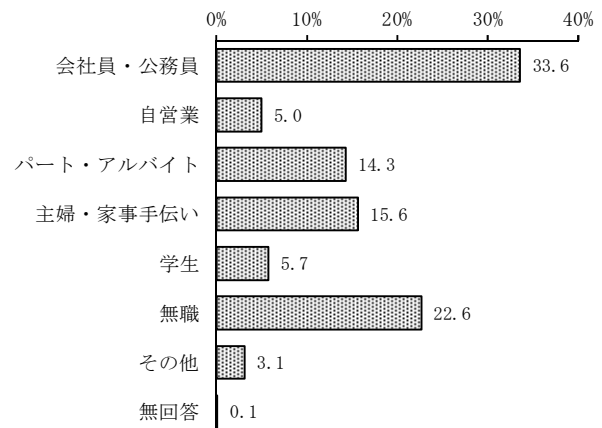
N=2,656



(4) 職業など

項目名	集計値	構成比 (%)
会社員・公務員	892	33.6
自営業	132	5.0
パート・アルバイト	379	14.3
主婦・家事手伝い	415	15.6
学生	152	5.7
無職	601	22.6
その他	82	3.1
無回答	3	0.1
合計	2,656	100.0

N=2,656

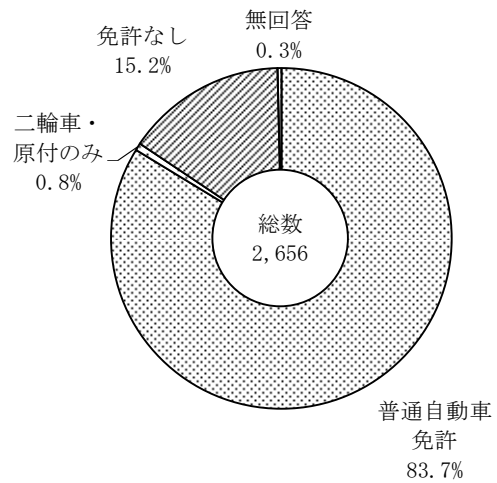


(5) 運転免許の所有状況

普通自動車免許の所有が約8割を占める。

項目名	集計値	構成比 (%)
普通自動車免許	2,222	83.7
二輪車・原付のみ	20	0.8
免許なし	405	15.2
無回答	9	0.3
合計	2,656	100.0

N=2,656

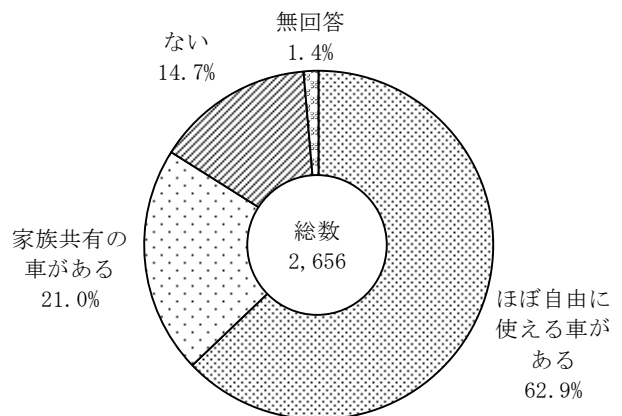


(6) 自由に使える自動車の有無

「ほぼ自由に使える車」と「家族共有の車」を合わせた自動車保有が約8割を占める。

項目名	集計値	構成比 (%)
ほぼ自由に使える車がある	1,670	62.9
家族共有の車がある	559	21.0
ない	390	14.7
無回答	37	1.4
合計	2,656	100.0

N=2,656



問2 高岳引込線の沿線のまちづくりについて

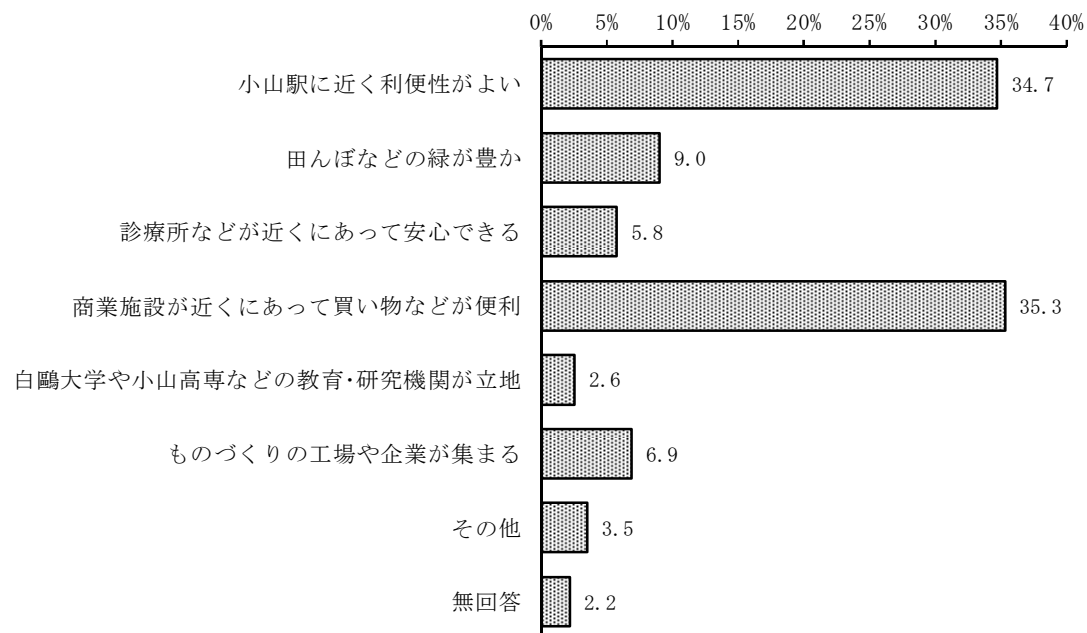
(1) 沿線地域の魅力

沿線地域の魅力は、「小山駅に近く利便性がよい」と「商業施設が近くにあって買い物など便利」が突出している。

次いで、「田んぼなどの緑が豊か」や「ものづくりの工場や企業が集まる」が多くなっている。

項目名	集計値	構成比 (%)
小山駅に近く利便性がよい	922	34.7
田んぼなどの緑が豊か	240	9.0
診療所などが近くにあって安心できる	153	5.8
商業施設が近くにあって買い物などが便利	938	35.3
白鷗大学や小山高専などの教育・研究機関が立地	68	2.6
ものづくりの工場や企業が集まる	183	6.9
その他	94	3.5
無回答	58	2.2
合計	2,656	100.0

N=2,656



10代から40代の比較的若い世代が「小山駅に近く利便性がよい」ことを比較的高く評価している。これに対し、50代以上の世代は「商業施設が近くにあつて買い物などが便利」を高く評価している。また、60代以上の高齢の世帯は「診療所などが近くにあつて安心できる」の割合が比較的大きい。

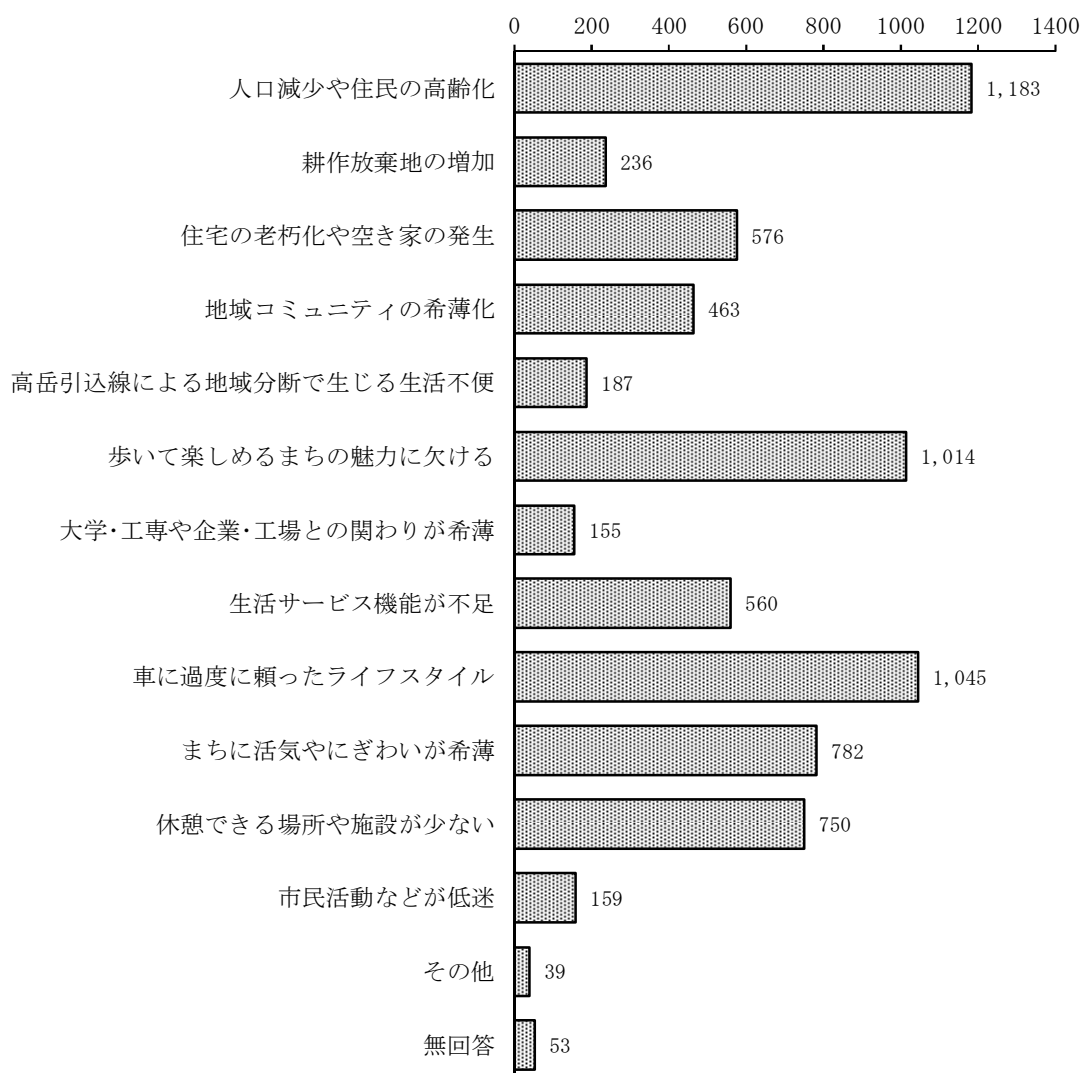


(2) 沿線の課題

沿線の課題は、「人口減少や住民の高齢化」が最も多く、次いで「歩いて楽しめるまちの魅力に欠ける」「車に過度に頼ったライフスタイル」が多くなっている。

項目名 【3つまでの複数回答】	集計値
人口減少や住民の高齢化	1,183
耕作放棄地の増加	236
住宅の老朽化や空き家の発生	576
地域コミュニティの希薄化	463
高岳引込線による地域分断で生じる生活不便	187
歩いて楽しめるまちの魅力に欠ける	1,014
大学・工専や企業・工場との関わりが希薄	155
生活サービス機能が不足	560
車に過度に頼ったライフスタイル	1,045
まちに活気やにぎわいが希薄	782
休憩できる場所や施設が少ない	750
市民活動などが低迷	159
その他	39
無回答	53
合計	7,202

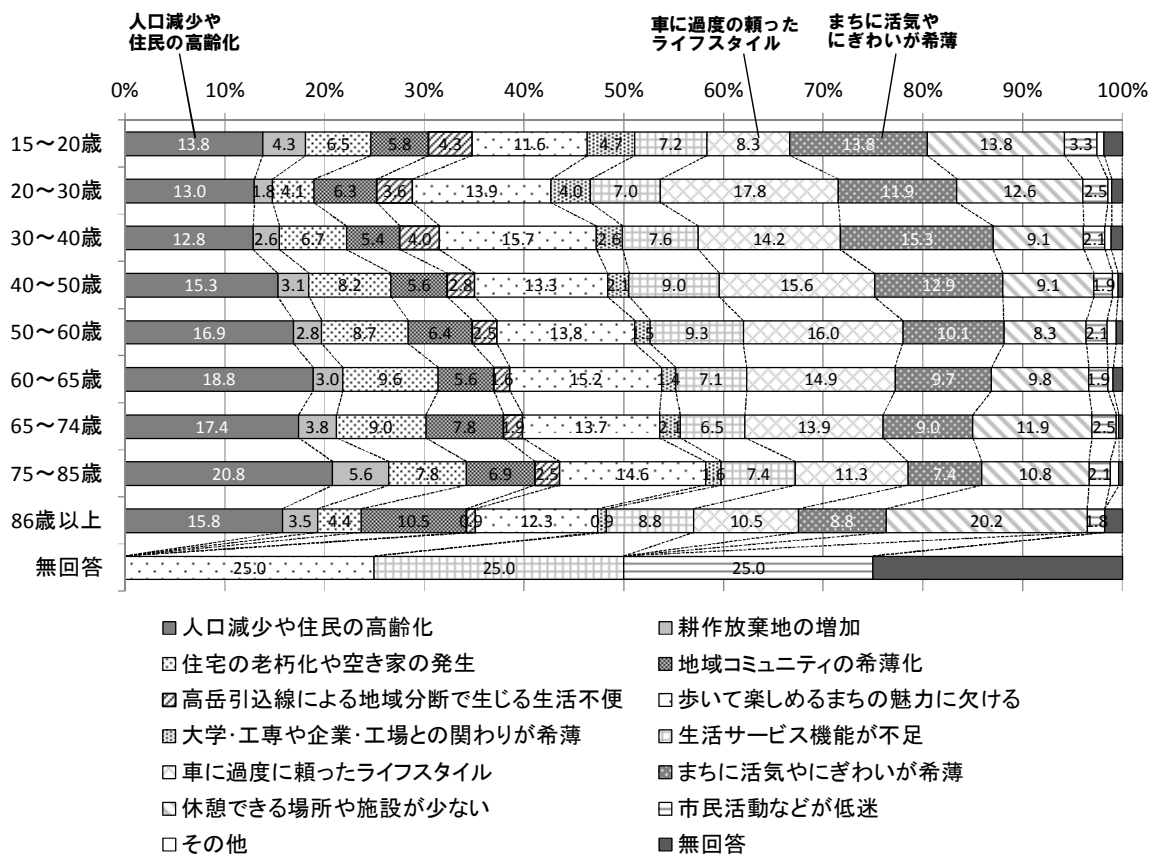
N=2,656（複数回答）



20代から40代の比較的若い世代は「車に過度の頼ったライフスタイル」や「まちに活気やにぎわいが希薄」の割合が比較的大きい。

これに対し、60代以上は「人口減少や住民の高齢化」の割合が大きい。

「歩いて楽しめるまちの魅力に欠ける」と「休憩できる場所や施設が少ない」の割合は、すべての世帯で大きい。

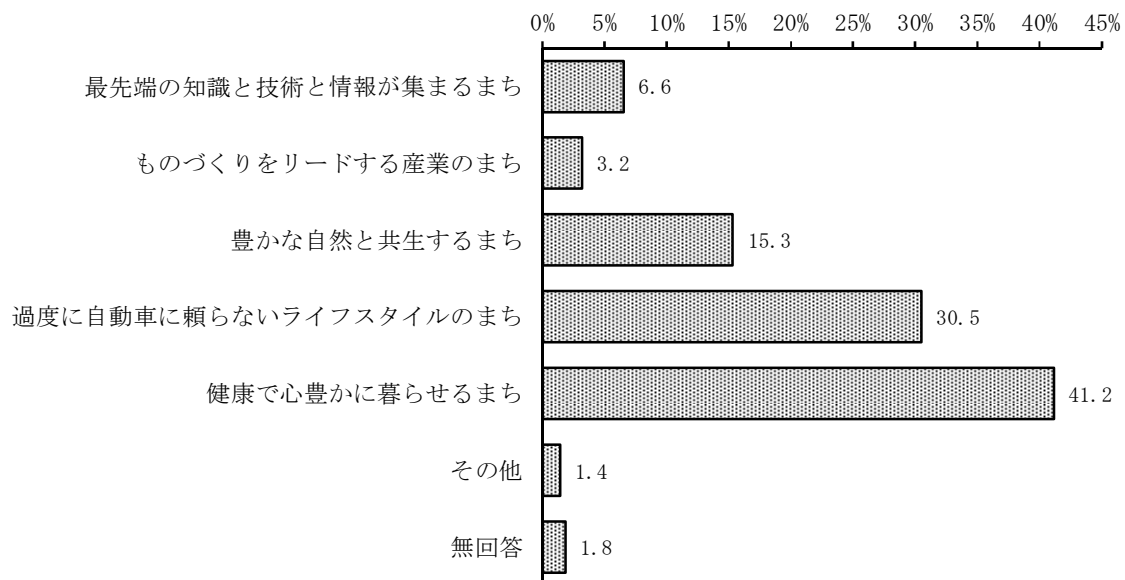


(3) 思い描く今後の地域の姿

思い描く今後の地域の姿は、「健康で心豊かに暮らせるまち」が最も多く、「過度に自動車に頼らないライフスタイルのまち」が次いでいる。

項目名	集計値	構成比 (%)
最先端の知識と技術と情報が集まるまち	174	6.6
ものづくりをリードする産業のまち	85	3.2
豊かな自然と共生するまち	407	15.3
過度に自動車に頼らないライフスタイルのまち	810	30.5
健康で心豊かに暮らせるまち	1,093	41.2
その他	38	1.4
無回答	49	1.8
合計	2,656	100.0

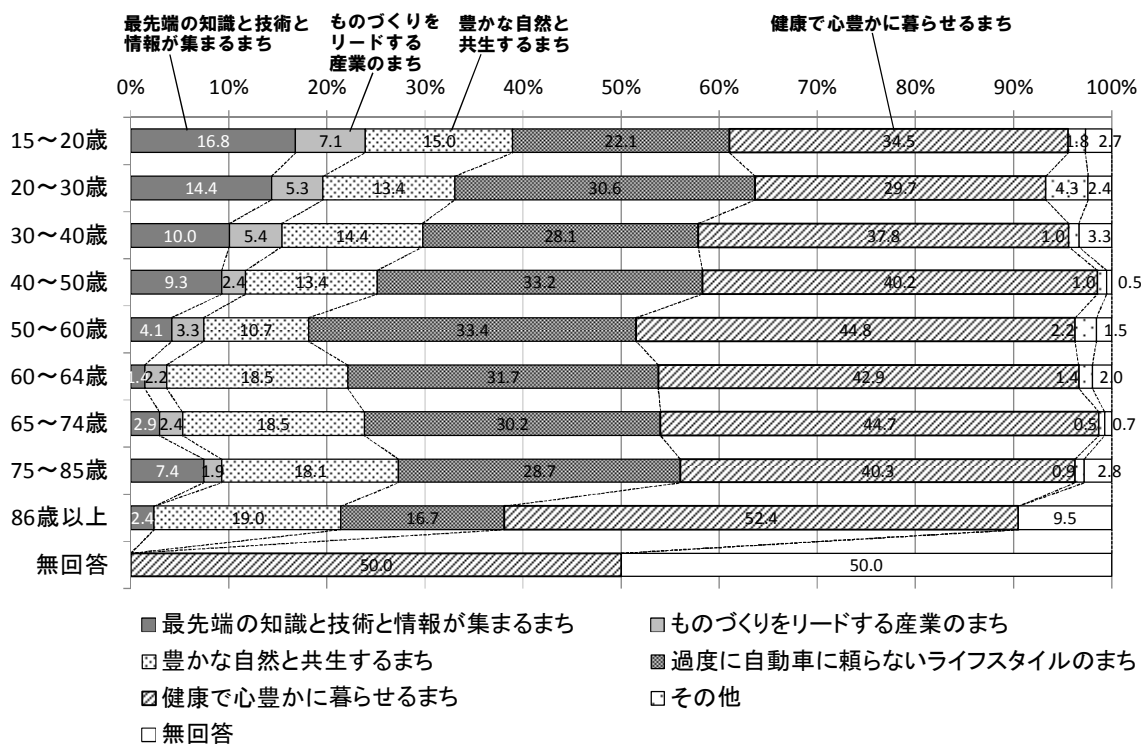
N=2,656



10代、20代などの若い世代ほど「最先端の知識と技術と情報が集まるまち」や「ものづくりをリードする産業のまち」の割合が比較的大きい。

これに対し、60代以上の世代は「豊かな自然と共生するまち」の割合が比較的大きい。

「健康で心豊かに暮らせるまち」はすべての世代で割合が大きい。

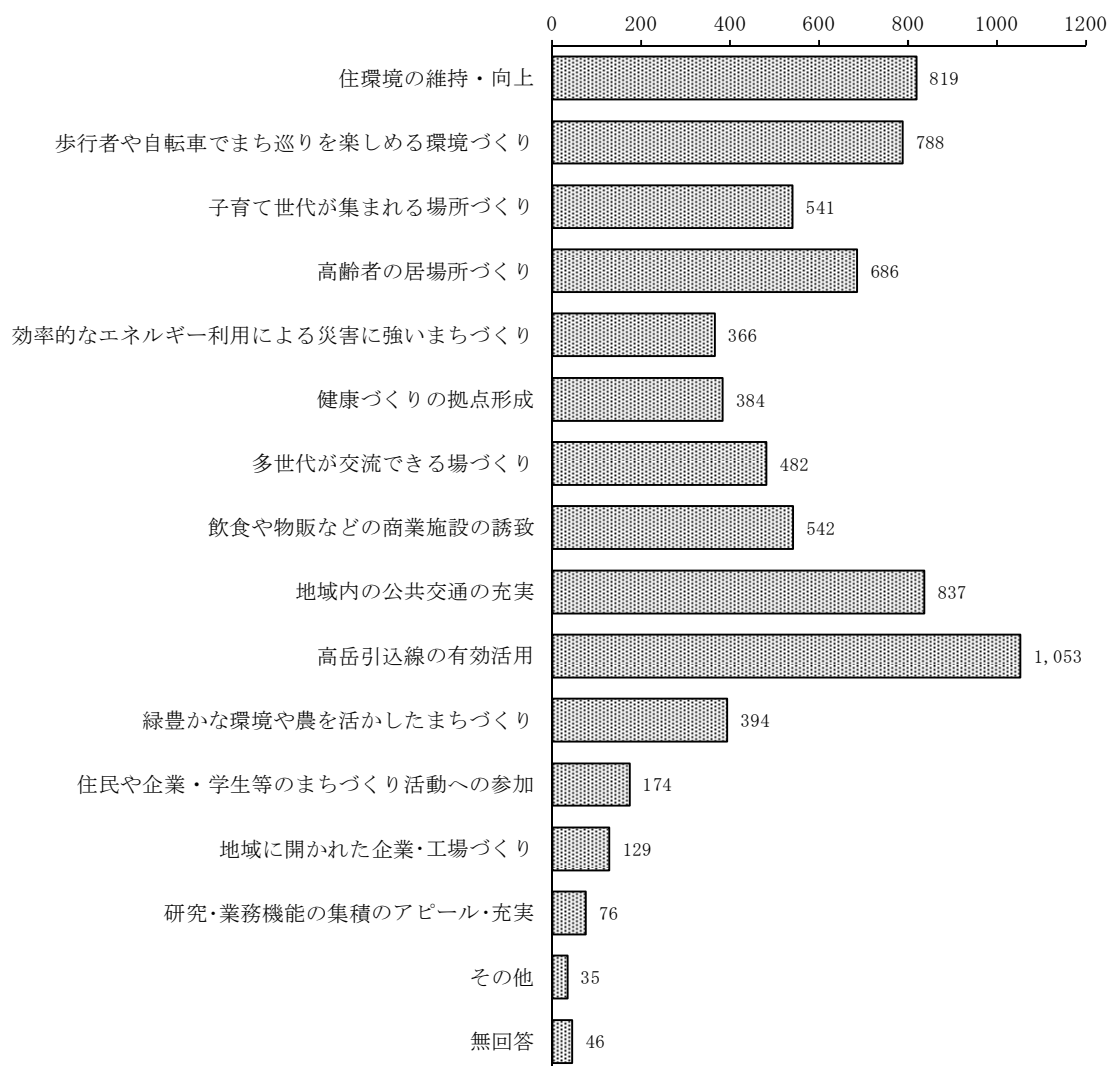


(4) 今後必要な取り組み

今後必要な取り組みは、「高岳引込線の有効活用」が最も多く、次いで「地域内の公共交通の充実」「住環境の維持・向上」「歩行者や自転車でまち巡りを楽しめる環境づくり」「高齢者の居場所づくり」が多くなっている。

項目名 【3つまでの複数回答】	集計値
住環境の維持・向上	819
歩行者や自転車でまち巡りを楽しめる環境づくり	788
子育て世代が集まれる場所づくり	541
高齢者の居場所づくり	686
効率的なエネルギー利用による災害に強いまちづくり	366
健康づくりの拠点形成	384
多世代が交流できる場づくり	482
飲食や物販などの商業施設の誘致	542
地域内の公共交通の充実	837
高岳引込線の有効活用	1,053
緑豊かな環境や農を活かしたまちづくり	394
住民や企業・学生等のまちづくり活動への参加	174
地域に開かれた企業・工場づくり	129
研究・業務機能の集積のアピール・充実	76
その他	35
無回答	46
合計	7,352

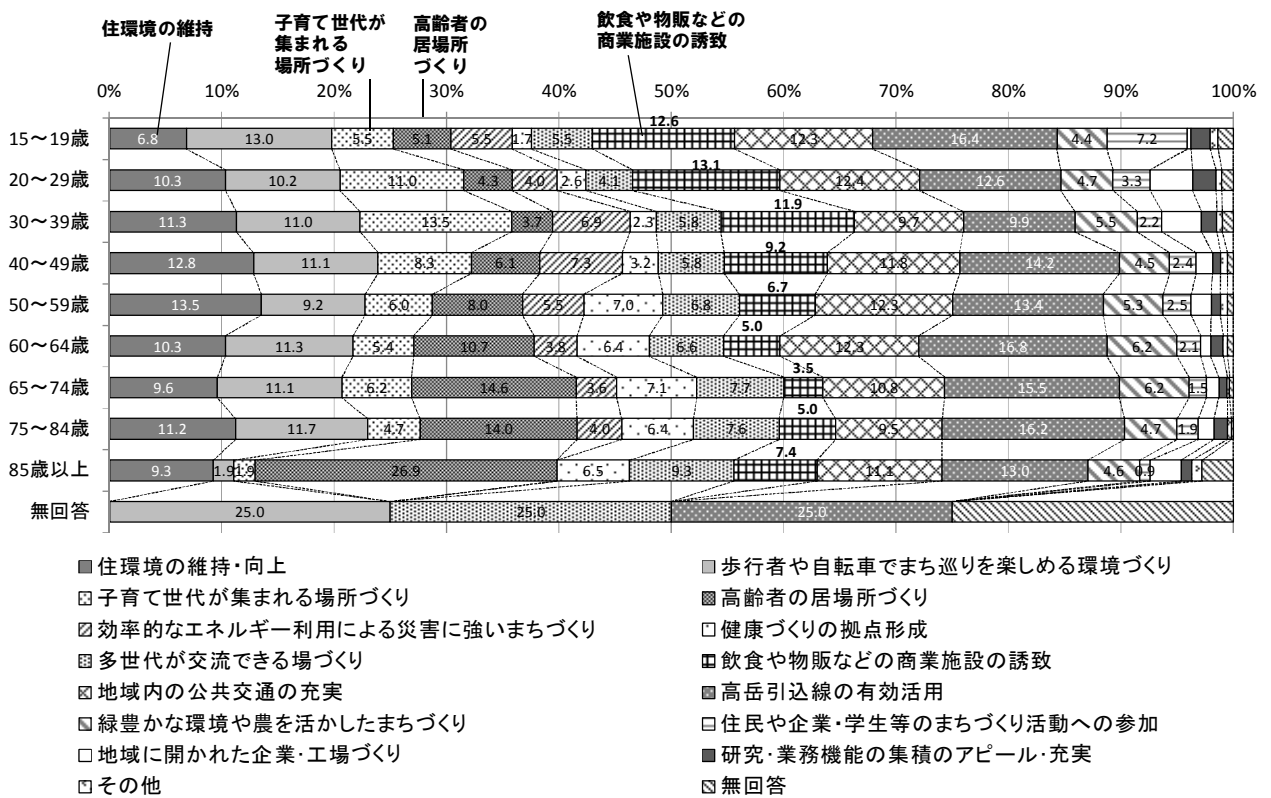
N=2,656（複数回答）



10代、20代、30代の比較的若い世代は「子育て世代が集まれる場所づくり」や「飲食や物販などの商業施設の誘致」の割合が比較的大きい。

これに対し、40代や50代は「住環境の維持」の割合が比較的大きく、60代以上は「高齢者の居場所づくり」や「高岳引込線の有効活用」の割合が比較的大きい。

「歩行者や自転車でまち巡りを楽しめる環境づくり」や「地域内の公共交通の充実」、「高岳引込線の有効活用」はすべての世代で割合が大きい。



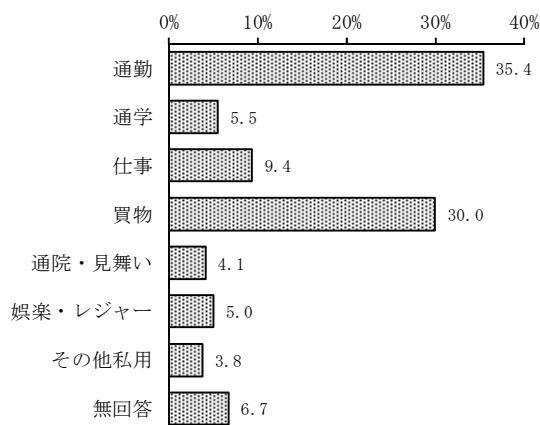
問3 普段（平日）の外出について

(1) 自宅からの頻度の多い外出目的

自宅からの外出目的は「通勤」と「買物」が突出して多くなっている。

項目名	集計値	構成比 (%)
通勤	940	35.4
通学	147	5.5
仕事	249	9.4
買物	796	30.0
通院・見舞い	110	4.1
娯楽・レジャー	134	5.0
その他私用	101	3.8
無回答	179	6.7
合計	2,656	100.0

N=2,656

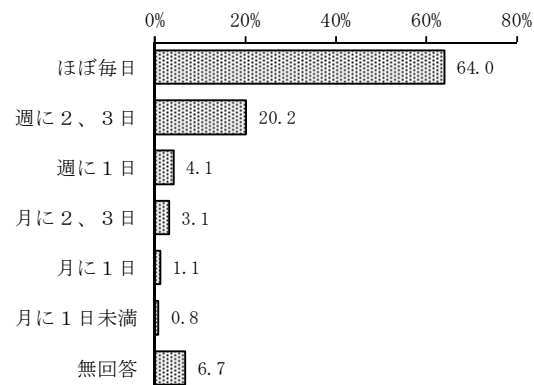


(2) 外出の頻度

外出の頻度は「ほぼ毎日」が約6割を占める。

項目名	集計値	構成比 (%)
ほぼ毎日	1,699	64.0
週に2、3日	536	20.2
週に1日	109	4.1
月に2、3日	83	3.1
月に1日	30	1.1
月に1日未満	21	0.8
無回答	178	6.7
合計	2,656	100.0

N=2,656

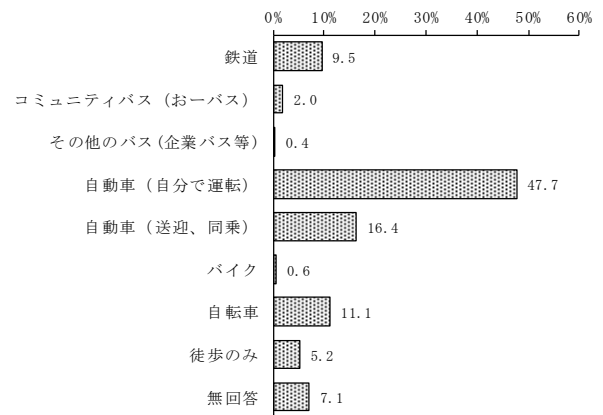


(3)-1 外出時の主な交通手段

外出時の主な交通手段は、「自分で運転」と「送迎、同乗」を合わせた「自動車」が約6割を占める。

項目名	集計値	構成比 (%)
鉄道	253	9.5
コミュニティバス (おーバス)	53	2.0
その他のバス(企業バス等)	10	0.4
自動車 (自分で運転)	1,267	47.7
自動車 (送迎、同乗)	435	16.4
バイク	16	0.6
自転車	296	11.1
徒歩のみ	137	5.2
無回答	189	7.1
合計	2,656	100.0

N=2,656



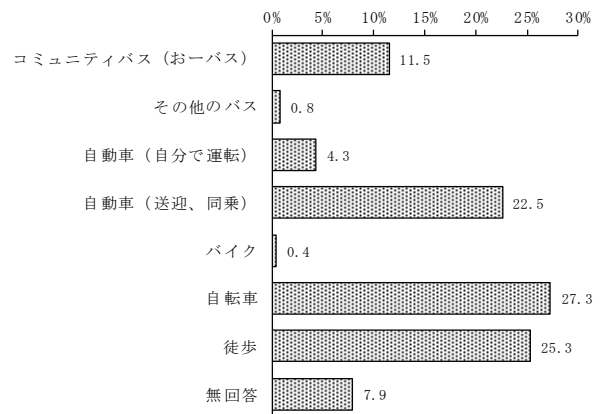
(3)-2 鉄道利用者の自宅から駅までの交通手段

鉄道利用者の自宅から駅までの交通手段は、「自転車」が27.3%と最も多く、次いで「徒歩」が多い。

なお「自動車」は、「自分で運転」と「送迎・同乗」を合わせると26.8%となり、「自転車」と同程度となる。

項目名	集計値	構成比 (%)
コミュニティバス (おーバス)	29	11.5
その他のバス	2	0.8
自動車 (自分で運転)	11	4.3
自動車 (送迎、同乗)	57	22.5
バイク	1	0.4
自転車	69	27.3
徒歩	64	25.3
無回答	20	7.9
合計	253	100.0

N=253

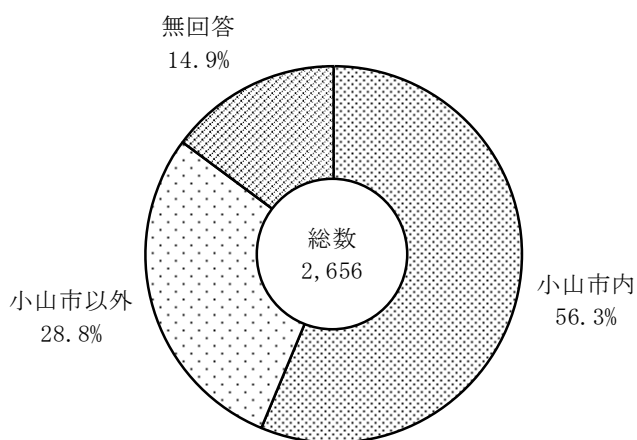


(4)-1 外出時の主な行き先（目的地）

外出時の主な行き先は、市内が 56.3%と過半数を占める。

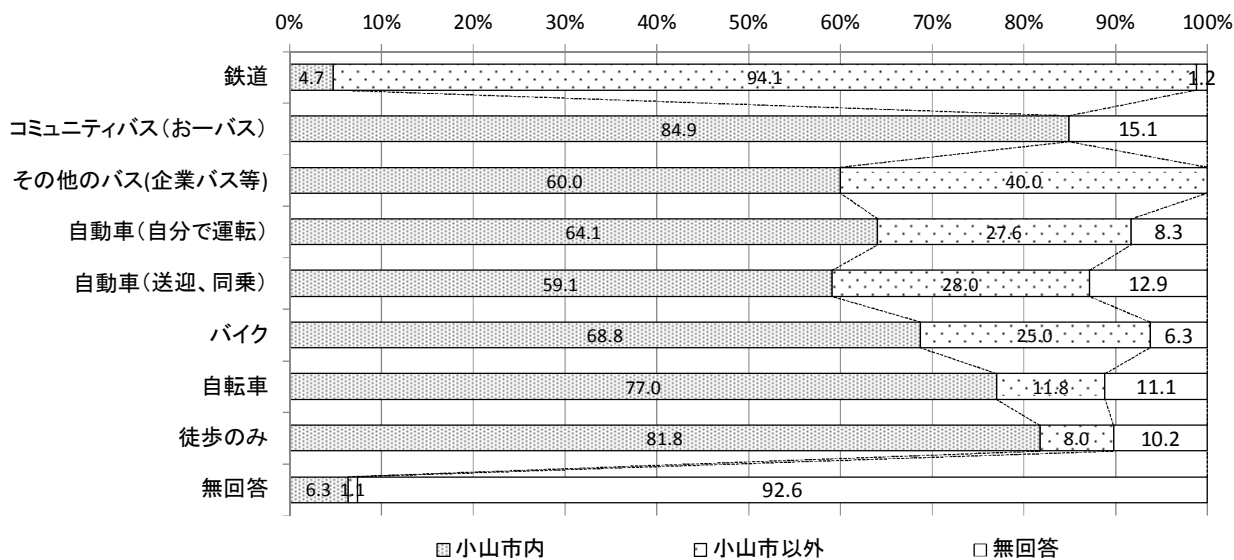
項目名	集計値	構成比 (%)
小山市内	1,495	56.3
小山市以外	766	28.8
無回答	395	14.9
合計	2,656	100.0

N=2,656



(4)-2 交通手段別の外出時の行き先（目的地）

鉄道利用者の大半は、小山市以外の目的地に外出している。一方、それ以外の交通手段は、小山市内の外出に使われている割合が大きい。



問4 高岳引込線に路面電車を走らせることについて（沿線のまちは現況を想定）

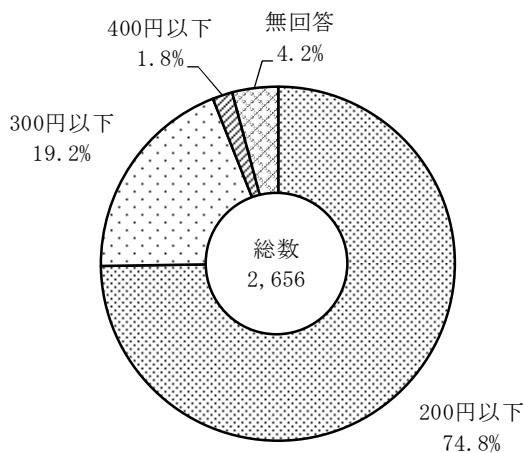
(1) 運行条件

① 運賃（全区間同じ料金とした場合、最大いくらなら乗りますか。（1つ選択））

「200円以下」が約7割を占める。次いで「300円以下」が約2割となっている。

項目名	集計値	構成比 (%)
200円以下	1,987	74.8
300円以下	510	19.2
400円以下	48	1.8
無回答	111	4.2
合計	2,656	100.0

N=2,656

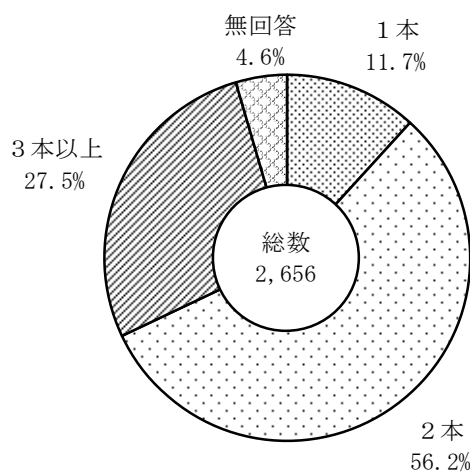


② 運行本数（1時間に上り下りそれぞれ何本ずつ運行すれば乗りますか。（1つ選択））

「2本」が最も多く約6割を占める。次いで「3本以上」が約3割と多くなっている。

項目名	集計値	構成比 (%)
1本	312	11.7
2本	1,493	56.2
3本以上	730	27.5
無回答	121	4.6
合計	2,656	100.0

N=2,656

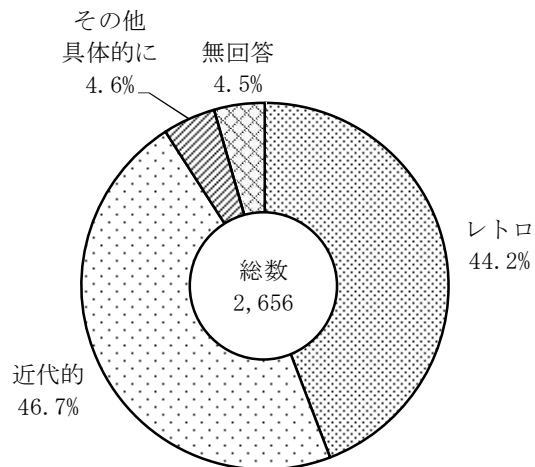


③乗りたいと思う車両（どんな車両に乗りたいですか。（1つ選択））

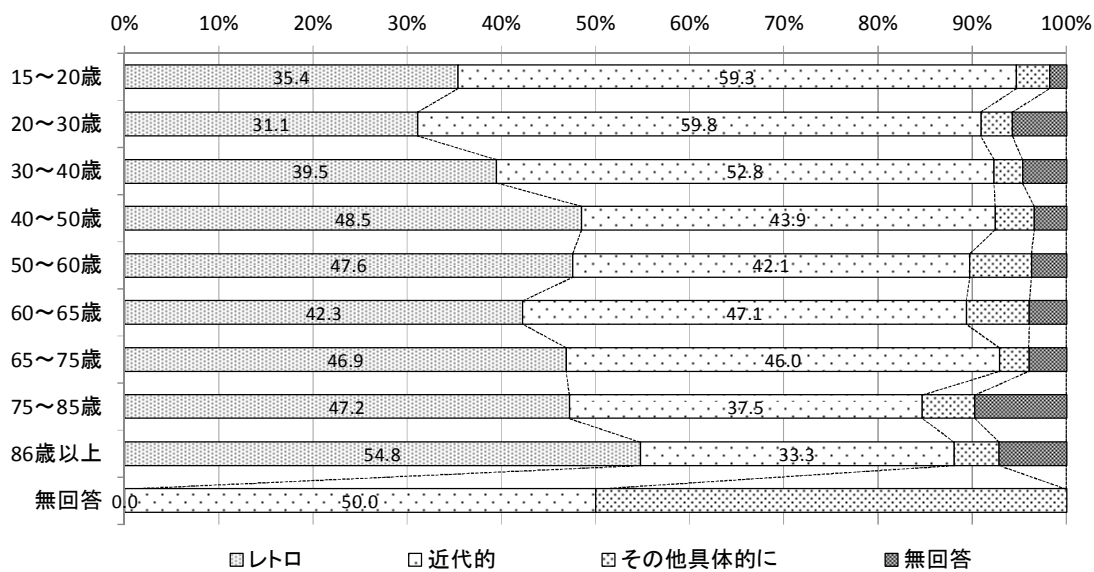
乗りたいと思う車両は「近代的」と「レトロ」が2分される結果となっている。

項目名	集計値	構成比 (%)
レトロ	1,174	44.2
近代的	1,240	46.7
その他具体的に	123	4.6
無回答	119	4.5
合計	2,656	100.0

N=2,656



年齢別にみると、10代から30代の若い世代は「近代的」の割合が大きく、65歳以上は「レトロ」の割合が大きい。

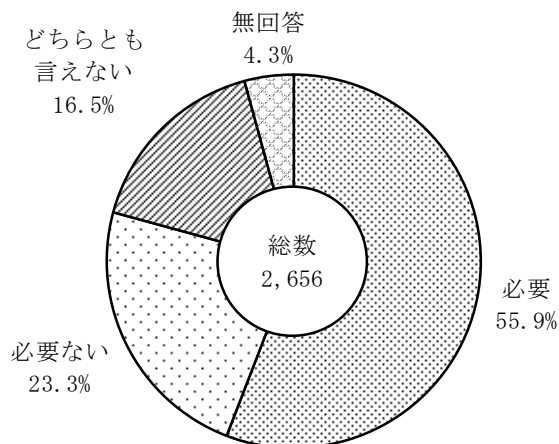


④ 停留所に隣接した駐輪場の必要性（停留所に隣接した駐輪場は必要ですか。（1つ選択））

停留所に隣接した駐輪場は「必要」が約6割と最も多くなっている。

項目名	集計値	構成比 (%)
必要	1,484	55.9
必要ない	620	23.3
どちらとも言えない	439	16.5
無回答	113	4.3
合計	2,656	100.0

N=2,656



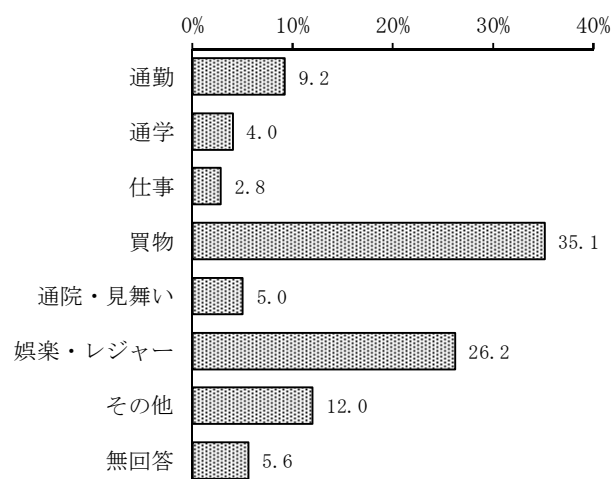
(2) 利用方法

①-1 利用目的（どのような目的で利用しますか。（主なものを1つ選択））

利用目的は「買物」が最も多く、次いで「娯楽・レジャー」が多くなっている。

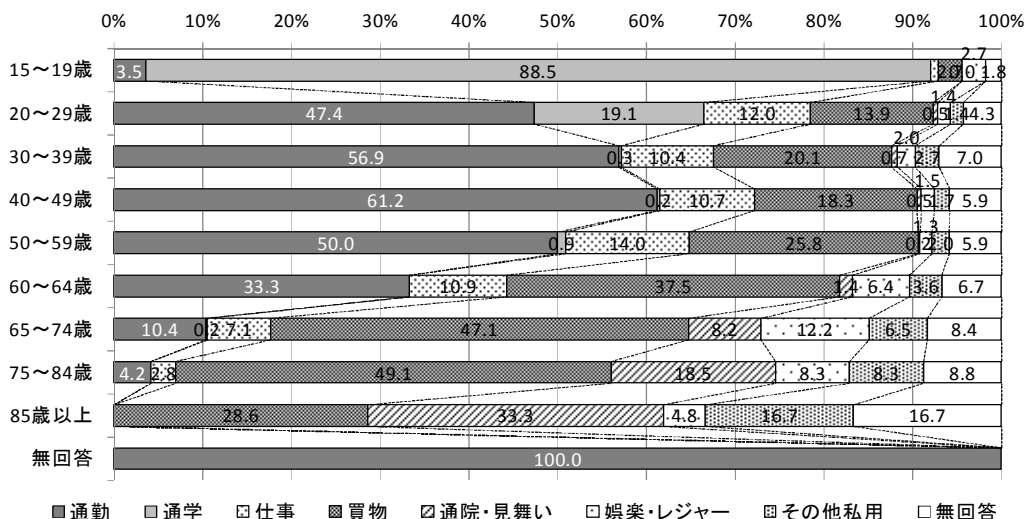
項目名	集計値	構成比 (%)
通勤	245	9.2
通学	107	4.0
仕事	75	2.8
買物	933	35.1
通院・見舞い	133	5.0
娯楽・レジャー	696	26.2
その他	319	12.0
無回答	148	5.6
合計	2,656	100.0

N=2,656



①-2 年齢別の利用目的

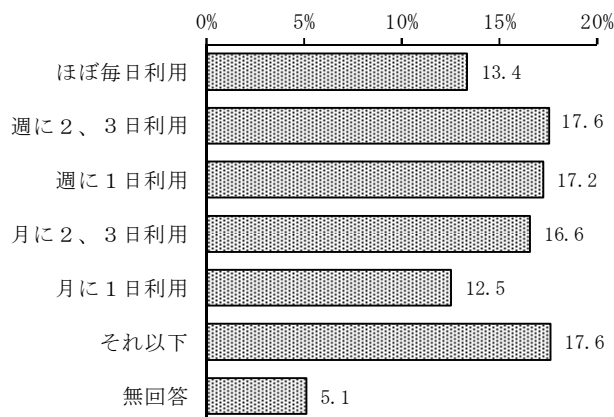
若い世代は「通勤」・「通学」、高齢の世代は「買物」が多い。85歳以上は、特に「通院・見舞い」が多い。



②利用頻度（ご利用の頻度はいかがですか。（1つ選択））

利用頻度は、「ほぼ毎日」と「週に2、3日」「週に1日」の合計が約48.1%、「月に2、3日」「月に1日」「それ以下」の合計が46.7%と、週1日以上の利用とそれ以下の利用に分かれている。

項目名	集計値	構成比 (%)
ほぼ毎日利用	355	13.4
週に2、3日利用	466	17.6
週に1日利用	458	17.2
月に2、3日利用	440	16.6
月に1日利用	333	12.5
それ以下	468	17.6
無回答	136	5.1
合計	2,656	100.0

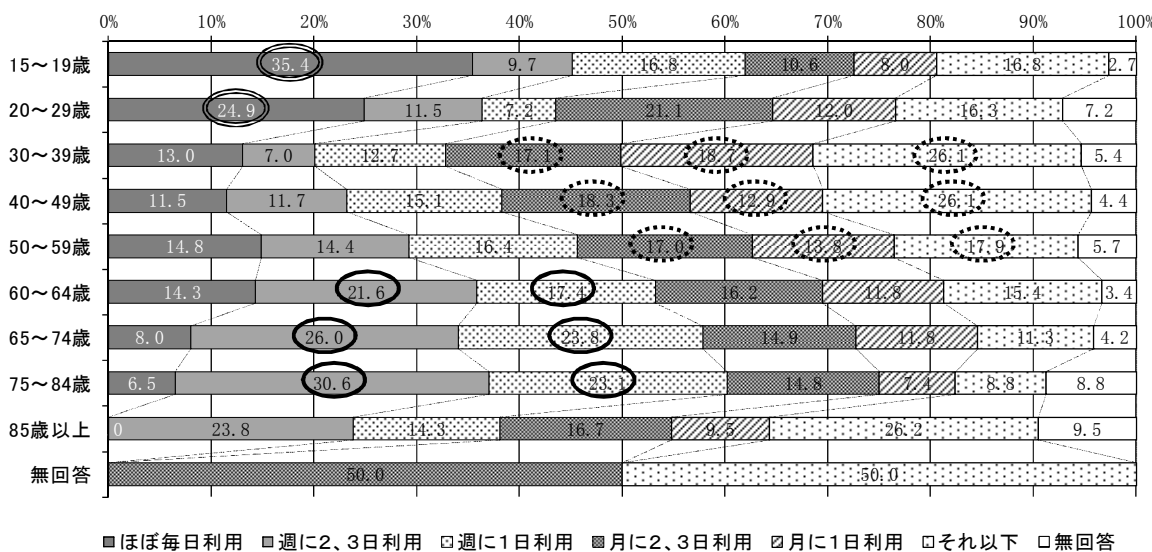


N=2,656

②-1 年齢別の利用頻度

10代と20代は「ほぼ毎日利用」の割合が比較的大きい。また、60代以上は「週に2、3日利用」「週に1日利用」の割合が比較的大きい。

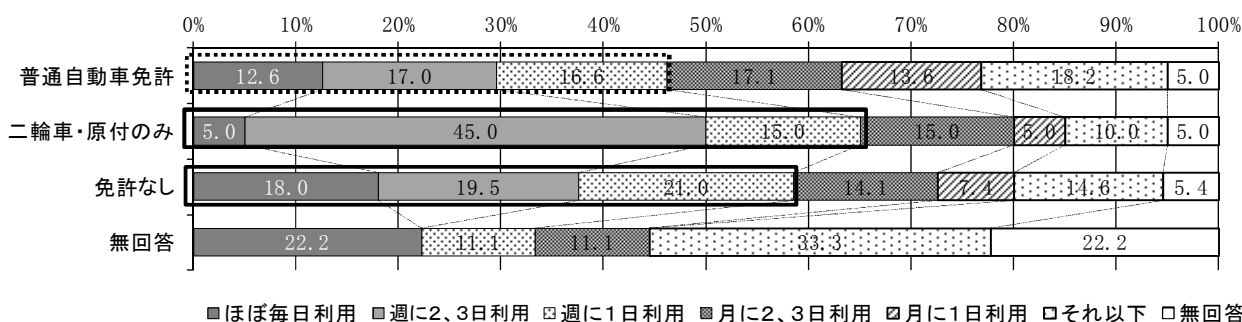
これに対し、30代から50代は「月に2、3日利用」「月に1日利用」「それ以下」の割合が比較的大きい。



■ほぼ毎日利用 ■週に2、3日利用 □週に1日利用 ■月に2、3日利用 □月に1日利用 □それ以下 □無回答

②-2 運転免許所有状況別の利用頻度

普通自動車免許を持っていない方（二輪車・原付のみも含める）は、「ほぼ毎日利用」「週に2、3日利用」「週に1日利用」の割合が比較的大きい。

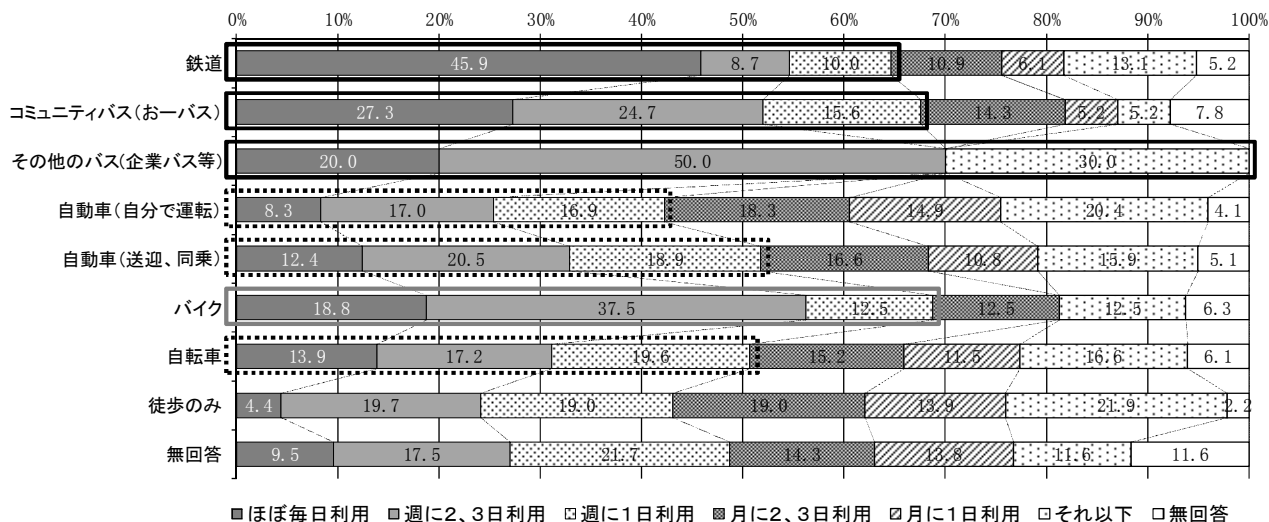


■ほぼ毎日利用 ■週に2、3日利用 □週に1日利用 ■月に2、3日利用 □月に1日利用 □それ以下 □無回答

②-3 (普段の)外出時の主な交通手段別の利用頻度

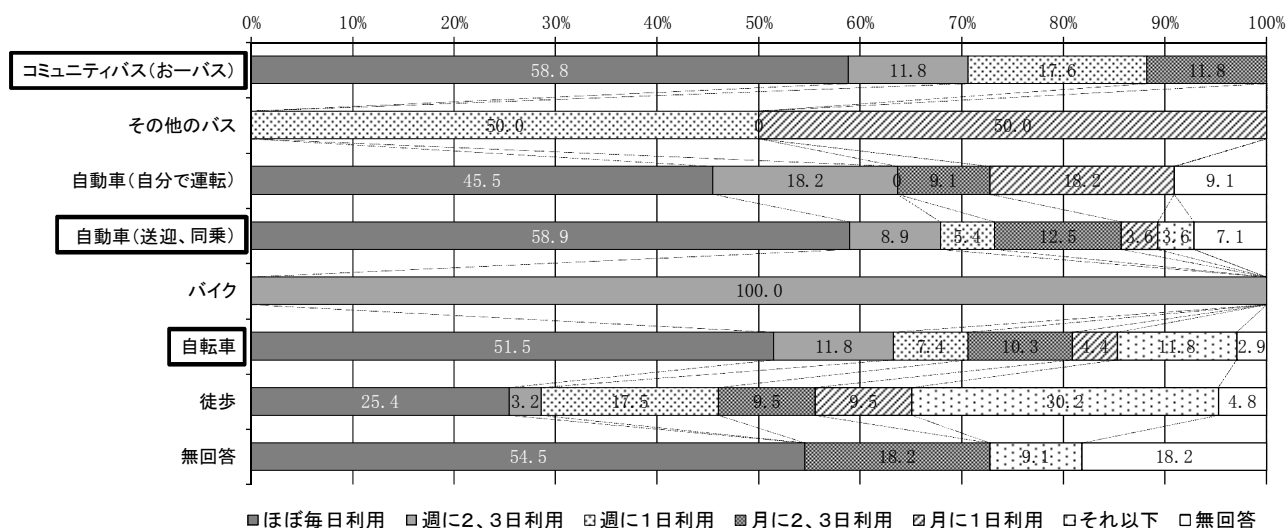
普段の外出時に公共交通を利用している方(鉄道・バス)は、利用頻度が高く、「ほぼ毎日利用」と「週に2、3日利用」および「週に1日利用」を合わせた週1日以上が70%近くに達する。また、バイク利用者も同様に、利用頻度が高い傾向にある。

一方、普段の外出時に自動車および自転車を利用している方についても、40~50%近くが週1日以上の利用意向となっている。



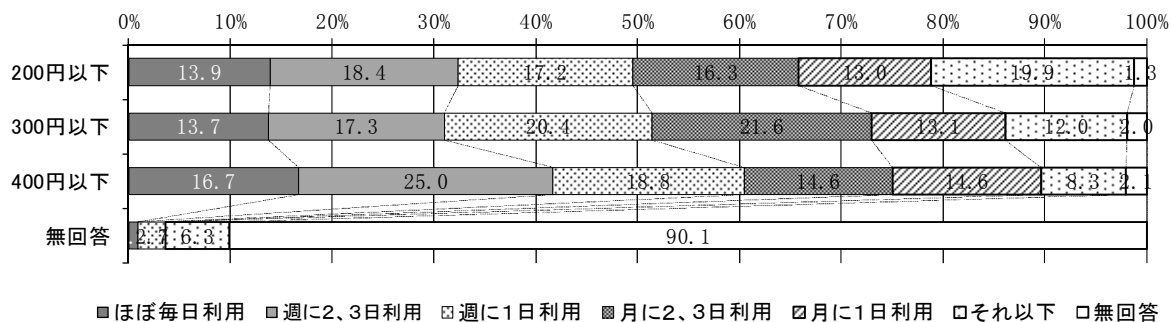
②-4 鉄道利用者の自宅から駅までの交通手段別の利用頻度

鉄道利用者のうち、「コミュニティバス(おーバス)」や「自動車による送迎、同乗」、「自転車」を使って自宅から駅にアクセスしている方は、特に利用頻度が高い。



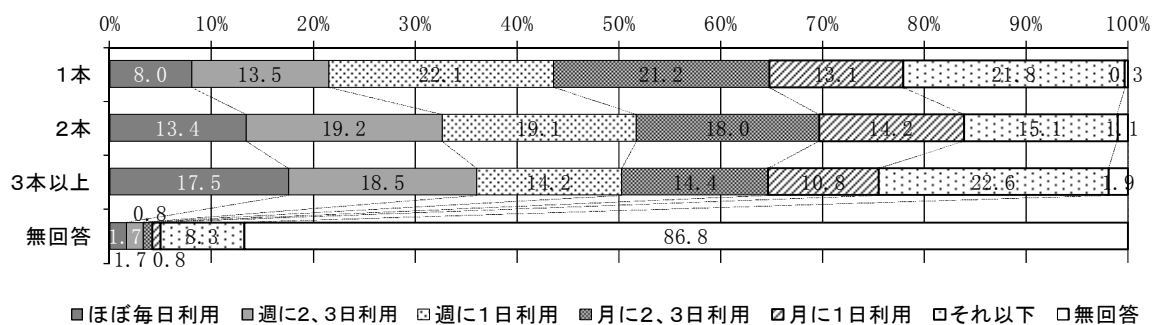
②-5 運賃別の利用頻度

運賃 200 円以下と 300 円以下の利用頻度はおおむね同様の傾向だが、運賃 400 円以下は利用頻度が比較的高い。



②-6 運行本数別の利用頻度

運行本数が大きいほど、利用頻度が高くなる傾向がみられる。

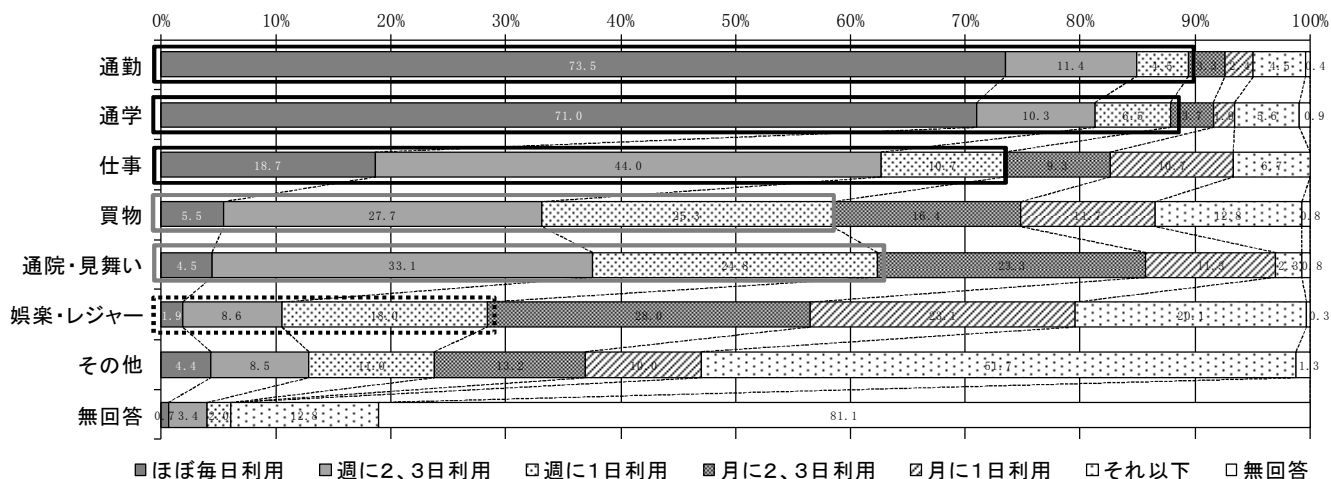


②-7 利用目的別の利用頻度

「通勤」や「通学」および「仕事」での利用を想定されている方は、利用頻度が高く、特に「通勤」「通学」での利用頻度は「ほぼ毎日利用」が70%を超える。

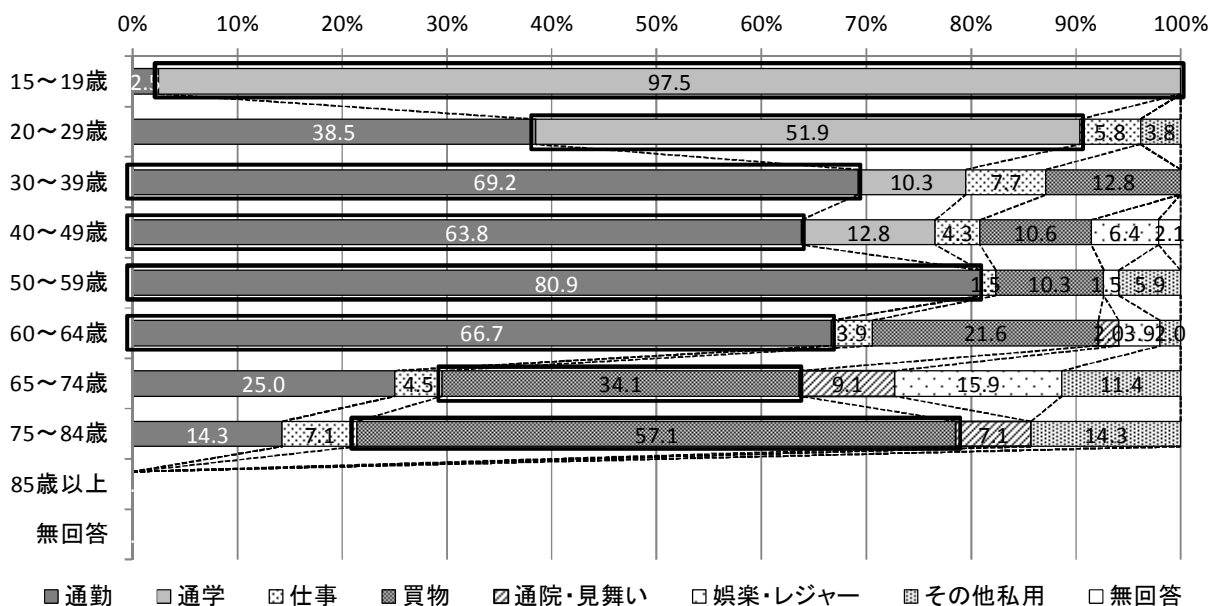
また、「買物」や「通院・見舞い」での利用を想定されている方は、「ほぼ毎日利用」の割合は比較的小さいものの、「週に2、3日利用」と「週に1日利用」が大きく、「ほぼ毎日利用」を合わせた週1日以上の利用意向が60%近くに達する。

一方、娯楽・レジャーについては、比較的用意頻度が低い。



②-8 「ほぼ毎日利用」の年齢別利用目的

「ほぼ毎日利用」の意向のある方は、64歳以下は「通勤」「通学」、65歳以上は「買物」を想定されている方が比較的多い。

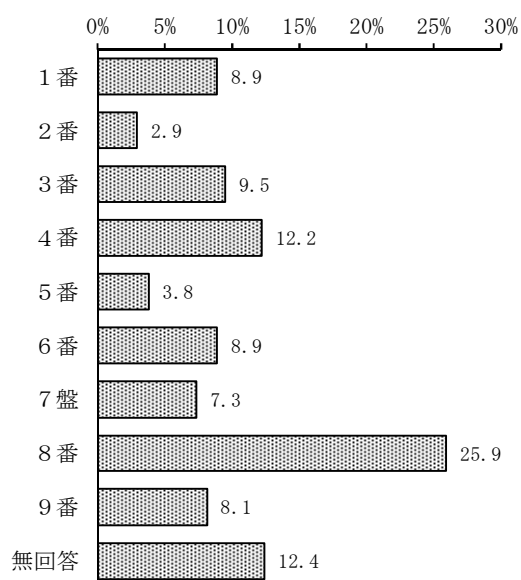


③-1 主に利用する停留所【乗車】

主に乗車で利用する停留所は、「8番」の東ニュータウン付近からが3割弱で最も多くなっている。

項目名	集計値	構成比 (%)
1番	236	8.9
2番	78	2.9
3番	252	9.5
4番	324	12.2
5番	101	3.8
6番	236	8.9
7盤	195	7.3
8番	689	25.9
9番	216	8.1
無回答	329	12.4
合計	2,656	100.0

N=2,656

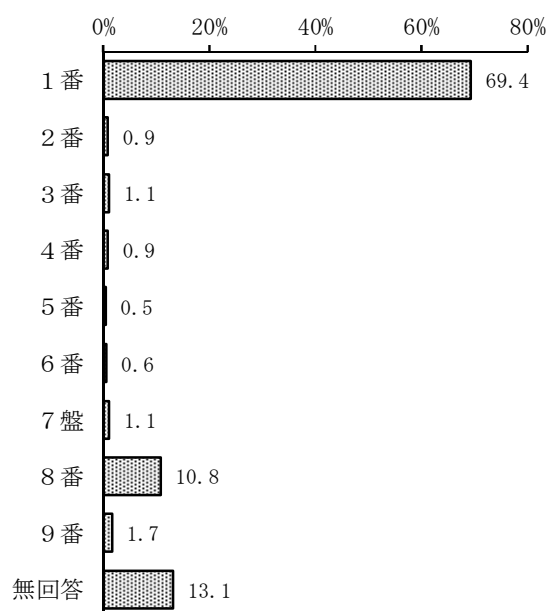


③-2 主に利用する停留所【降車】

主に降車で利用する停留所は、「1番」の小山駅付近が約7割と突出して多くなっている。

項目名	集計値	構成比 (%)
1番	1,842	69.4
2番	23	0.9
3番	29	1.1
4番	24	0.9
5番	12	0.5
6番	16	0.6
7盤	29	1.1
8番	288	10.8
9番	44	1.7
無回答	349	13.1
合計	2,656	100.0

N=2,656

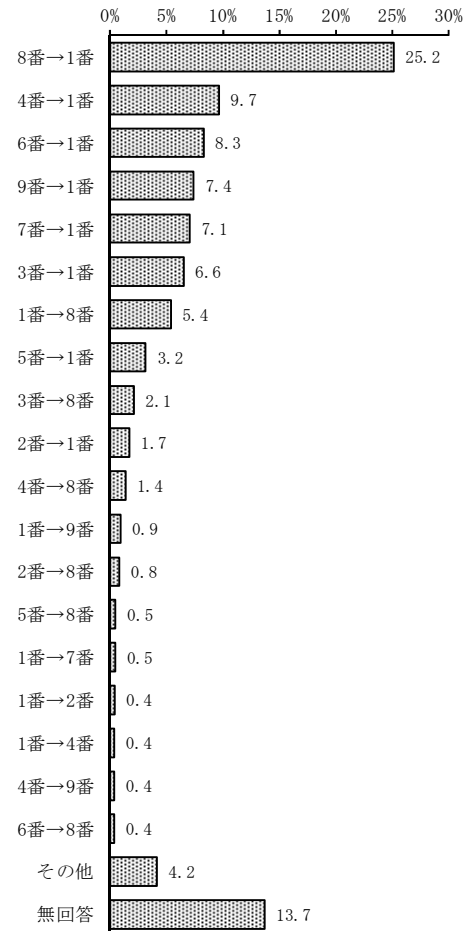


③-3 主に利用する停留所間

主に利用する停留所間では、東ニュータウン付近から乗車し小山駅付近で降車する「8番→1番」が、最も多くなっている。次いで4番、6番、9番などから乗車して1番で降車する回答が多くなっている。

項目名	集計値	構成比 (%)
8番→1番	668	25.2
4番→1番	257	9.7
6番→1番	220	8.3
9番→1番	197	7.4
7番→1番	188	7.1
3番→1番	174	6.6
1番→8番	143	5.4
5番→1番	84	3.2
3番→8番	56	2.1
2番→1番	46	1.7
4番→8番	36	1.4
1番→9番	24	0.9
2番→8番	22	0.8
5番→8番	13	0.5
1番→7番	12	0.5
1番→2番	11	0.4
1番→4番	10	0.4
4番→9番	10	0.4
6番→8番	10	0.4
その他	111	4.2
無回答	364	13.7
合計	2,656	100.0

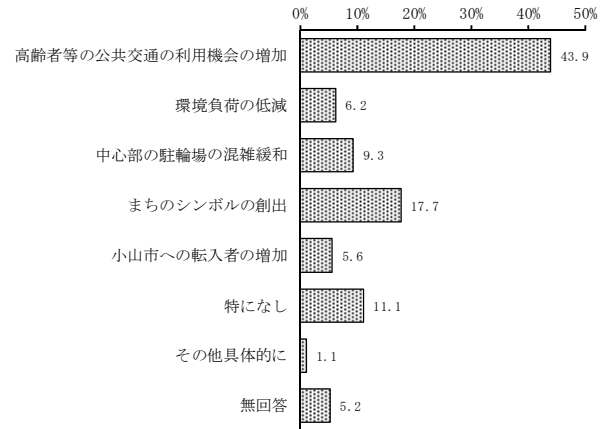
N=2,656



(3) 運行メリット（小山市全体へのメリット）

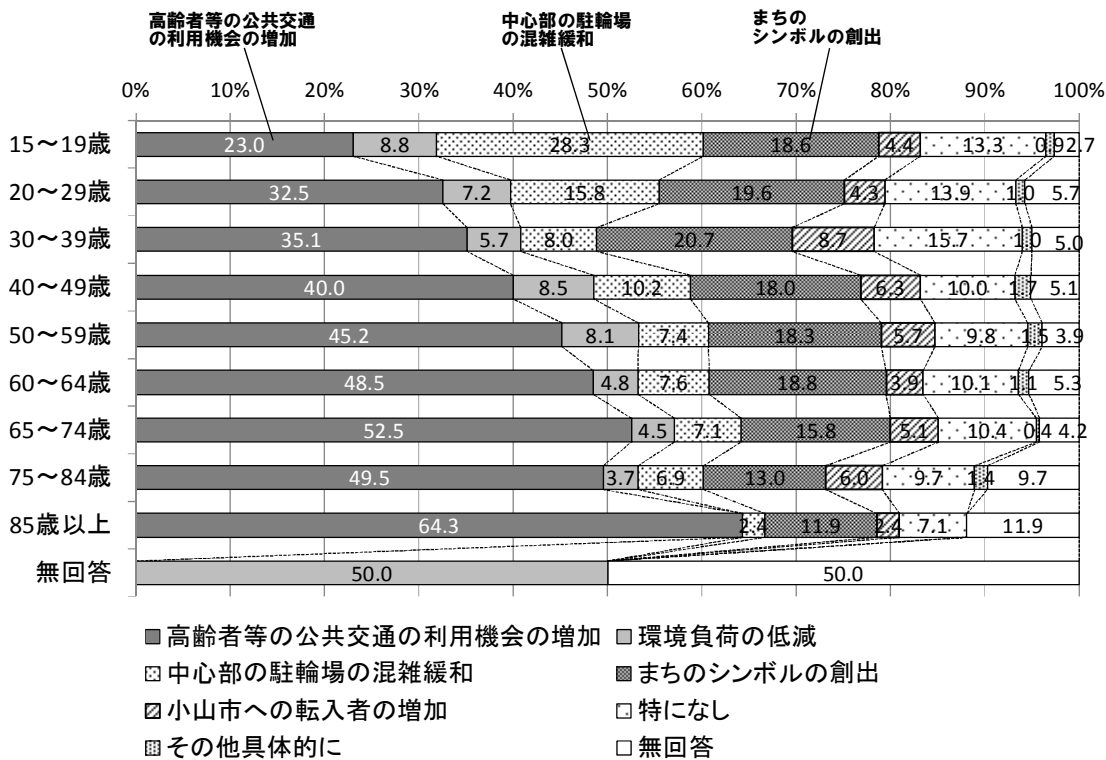
運行メリットは、「高齢者等の公共交通の利用機会の増加」が約4割と突出して多い。次いで「まちのシンボルの創出」が多くなっている。

項目名	集計値	構成比 (%)
高齢者等の公共交通の利用機会の増加	1,166	43.9
環境負荷の低減	165	6.2
中心部の駐輪場の混雑緩和	247	9.3
まちのシンボルの創出	469	17.7
小山市への転入者の増加	148	5.6
特になし	294	11.1
その他具体的に	29	1.1
無回答	138	5.2
合計	2,656	100.0



N=2,656

高齢な世代ほど「高齢者等の公共交通の利用機会の増加」の割合が大きい。
 一方、10代から30代の若い世代は、「中心部の駐輪場の混雑緩和」の割合が比較的大きい。
 「まちのシンボルの創出」はすべての世代で比較的割合が大きい。



沿線の皆様へのアンケート調査票

※回答欄 (回答者①～) には、ご家族お一人ずつの回答を、選択肢の番号などをご記入ください。(15歳以上の方全員が対象です。)

質問1 世帯 (ご家族) のことについて、お尋ねします。

質問	選択肢					記入例	回答者 ①	回答者 ②	回答者 ③	回答者 ④	回答者 ⑤	
(1) 住まい	大字町丁名をご記入ください。					中久喜	(丁目
(2) 性別 (1つ選択)	1 男性	2 女性				1						
(3) 年齢 (1つ選択)	1 15～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳	5 50～59歳	5						
	6 60～64歳	7 65～74歳	8 75～84歳	9 85歳以上								
(4) 職業など (1つ選択)	1 会社員・公務員	2 自営業	3 パート・アルバイト	4 主婦・家事手伝い		1						
	5 学生	6 無職	7 その他									
(5) お持ちの運転免許 (1つ選択)	1 普通自動車免許	2 二輪車・原付のみ	3 免許なし				1					
(6) 自由に使える自動車の有無 (1つ選択)	1 ほぼ自由に使える車がある	2 家族共有の車がある	3 ない				2					

質問2 高岳引込線の沿線のまちづくりについてお尋ねします。質問4の沿線図をご参照ください。

質問	選択肢					記入例	回答者 ①	回答者 ②	回答者 ③	回答者 ④	回答者 ⑤
(1) 沿線地域の魅力は何だと思えますか。(主なもの1つ選択)	1 小山駅に近く利便性がよい	2 田んぼなどの緑が豊か	3 診療所などが近くにあって安心できる	4 商業施設が近くにあって買い物などが便利	5 白鬮大学や小山高車などの教育・研究機関が立地	1					
					6 ものづくりの工場や企業が集まる						
					7 その他 (
(2) 沿線には、どのようなことが課題だと思いますか。(最大3つまで選択)	1 人口減少や住民の高齢化	2 耕作放棄地の増加	3 住宅の老朽化や空き家の発生	4 地域コミュニティの希薄化	5 大学・工場や企業・工場との関わりが希薄	4					
	5 高岳引込線による地域分断で生じる生活不便	6 歩いて楽しめるまちの魅力に欠ける	7 最先端の知識と技術と情報が集まるまち	8 豊かな自然と共生するまち	8 生活サービス機能が不足						
	9 子育て世代が集まれる場所づくり	10 高齢者の居場所づくり	11 効率的なエネルギー利用による災害に強いまちづくり	12 健康づくりの拠点形成	9 車に過度に頼ったライフスタイル	8					
	13 多世代が交流できる場づくり	14 飲食や物販などの商業施設の誘致	15 その他 (10 体に活気やにぎわいが希薄	1 2					
(3) 今後どのような地域の姿を描きますか。(主なものを1つ選択)	1 最先端の知識と技術と情報が集まるまち	2 ものづくりをリードする産業のまち	3 豊かな自然と共生するまち	4 過度に自動車に頼らないライフスタイルのまち	11 市民活動などが低迷	5					
	5 健康で心豊かに暮らせるまち	6 その他 (12 その他 (
(4) 今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(最大3つまで選択)	1 住環境の維持・向上	2 歩行者や自転車でもち巡りを楽しめる環境づくり	3 子育て世代が集まれる場所づくり	4 高齢者の居場所づくり	13 地域に開かれた企業・工場づくり	2					
	5 効率的なエネルギー利用による災害に強いまちづくり	6 健康づくりの拠点形成	7 多世代が交流できる場づくり	8 飲食や物販などの商業施設の誘致	14 研究・業務機能の集積のアービール・充実	7					
	9 地域内の公共交通の充実	10 高岳引込線の有効活用	11 緑豊かな環境や農を活かしたまちづくり	12 住民や企業・学生等のまちづくり活動への参加	15 その他 (1 0					
	13 地域に開かれた企業・工場づくり	14 研究・業務機能の集積のアービール・充実	15 その他 (

裏面に続きます →

(5) 沿線のまちづくりについて、自由なご意見をお書きください。(どのような施設があるとういかなどを具体的に)お書きください。

例) 子どもが遊べる施設があるとうい、勉強や仕事ができる作業空間(フリースペース)がほしい、多世代が交流できる場所がほしい、ガブエやレストランがあるとうい、買い物ができる施設がほしい、広場や公園の充実、再生可能エネルギーを使う施設の増加など

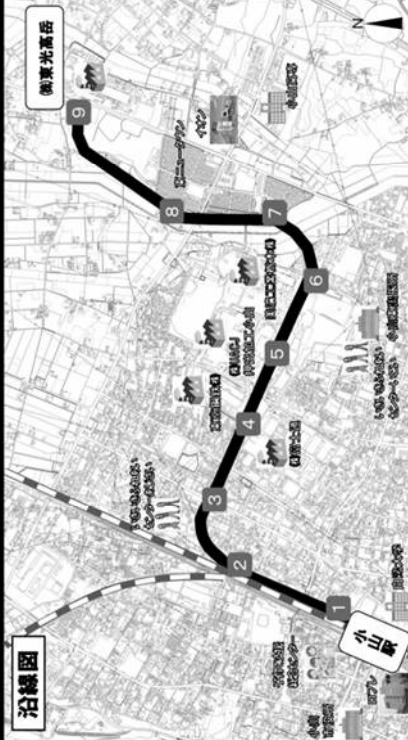
質問3 普段(平日)の外出についてお尋ねします。

質問	選択肢	記入例	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④	回答者⑤	
(1) 自宅からの頻度の多い外出目的は何ですか。(1つ選択)	<ol style="list-style-type: none"> 通勤 通学 仕事 買物 通院・見舞い 娯楽・レジャー その他私用() 	1						
(2) それほどの程度の頻度ですか。(1つ選択)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ毎日 週に2,3日 週に1日 月に2,3日 月に1日 月に1日未満 	1						
(3) そのときの主な交通手段は何ですか。(1つ選択)	<ol style="list-style-type: none"> 鉄道※ コミュニティバス(おーバス) その他のバス(企業バス等) 自動車(自分で運転) 自動車(送迎、同乗) バイク 自転車 徒歩のみ <p>※1 鉄道を選んだ方は、下記についてもご記入ください。 ①自宅からの乗車駅 () 駅 ②自宅から駅までの交通手段 (最も長い距離利用する手段1つだけ選択) ① コミュニティバス(おーバス) ② バイク ③ その他のバス ④ 自転車 ⑤ 自動車(自分で運転) ⑥ 徒歩 ⑦ 徒歩</p>	1	① () 駅	② () 駅	① () 駅	② () 駅	① () 駅	② () 駅
(4) そのときの主な行き先(目的地)はどこですか。(1つ選択)	<ol style="list-style-type: none"> 小山市内 小山市外 <p>具体的な場所をご記入ください。 ・1 小山市内の場合 () 町 () 丁目 住所が不明の場合は目標物をご記入ください。 例：〇〇スーパー、〇〇診療所など () ・2 小山市外の場合 () 市町村</p>	2	具体的な場所	具体的な場所	具体的な場所	具体的な場所	具体的な場所	

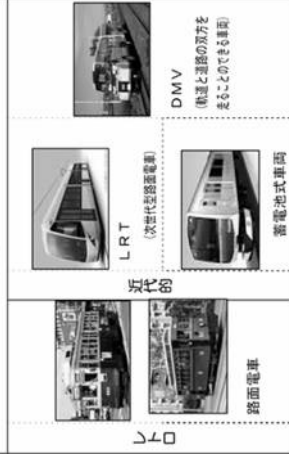
質問4 高岳引込線に路面電車を走らせることについてお尋ねします。(沿線のまちは今のままと仮定してください)

運行イメージ

- ・延長：4.8km
(小山駅東口～柳葉光高岳)
- ・所要時間：片道15～20分
- ・運行時間帯：JR小山駅の始発～終電
- ・停留所：9箇所程度(約600m間隔)
- ・道路渋滞に巻き込まれることなく、時刻通りに運行します。



車両イメージ



※この内容は現段階の想定であり、決定事項ではございません。

質問		選択肢					記入例	回答者 ①	回答者 ②	回答者 ③	回答者 ④	回答者 ⑤
(1) 運行条件についてお尋ねします。	① 全区間同じ料金とした場合、最大いくらなら乗りますか。(1つ選択)	1 200円以下	2 300円以下	3 400円以下			2					
	② 1時間に上り下りそれぞれ何本ずつ運行すれば乗りますか。(1つ選択)	1 1本	2 2本	3 3本以上			2					
	③ どんな車両に乗りたいですか。(右上の車両イメージを参考に1つ選択)	1 レトロ	2 近代的	3 その他具体的に()			1					
	④ 停留所に隣接した駐輪場は必要ですか。(1つ選択)	1 必要	2 必要ない	3 どちらとも言えない			1					
(2) 利用方法についてお尋ねします。	① どのような目的で利用しますか。(主なものをも1つ選択)	1 通勤	2 通学	3 仕事	4 買物		1					
	② ご利用の頻度はいかがですか。(1つ選択)	1 ほぼ毎日利用	2 週に2,3日利用	3 週に1日利用	4 その他		1					
	③ どの停留所間を主に利用しますか。(沿線図の番号でお答えください。)	1 月に2,3日利用	2 月に1日利用	3 それ以下			1					
(3) 運行メトリックについてお尋ねします。	乗車【 】番 → 降車【 】番					9→1	1	1	1	1	1	
	① 高岳引込線に路面電車を走らせると、小山市全体にどんなメリットがあると思いますか。	1 高齢者等の公共交通の利用機会の増加	2 環境負荷の低減	3 中心部の駐輪場の混雑緩和	4 まちのシンボルの創出	5 小山市への転入者の増加	6 特になし	7 その他具体的に()				
(4) 自由な意見をお書きください。(例：運行区間の延伸、停留所間の延滞、料金割引(車の運転免許返納後の支援など))												

質問は以上です。ご協力ありがとうございます。

2.2 沿線企業等へのアンケート調査結果

(1) 実施概要

- ① 調査日 2016年8月～9月
- ② 調査対象 高岳引込線沿線に立地する8企業、小山高専および白鷗大学
- ③ 調査方法 総務等の窓口経由で配布、回収
- ④ 調査内容
 - ・従業員の通勤交通（従業員数、始業時間、従業員の通勤手段、通勤手当の支給状況、公共交通の推奨状況、自家用車通勤に対する会社方針）
 - ・来訪者の状況（人数、交通手段）
 - ・高岳引込線に路面電車を走らせることについて
（従業員の交通手段としての活用意向、会社としてのメリット、利用上の課題）
 - ・高岳引込線の沿線について（地域の魅力、自由意見）
- ⑤ 回収数 全企業・学校から回答を得た

(2) 実施結果

(2)-1 企業

<従業員の通勤交通>

① 勤務形態・出勤時間

工場を稼働させるために、常昼勤務とともに交代勤務を採用している企業が多い。

常昼勤務の場合は、朝 8 時 30 分前後を出勤時間とする企業が多い。また、交代勤務の場合は、朝の早番は 7 時 30 分から 8 時 30 分の間を出勤時間とする企業が多い。夜の遅番は、20 時から 23 時 30 分の間を出勤時間とし、昼の 14 時 30 分から 15 時 30 分の間の中番を設けた 3 交代制の企業もある。

② 従業員の交通手段

市内外からのマイカー通勤が多い。次いで、市内からの自転車通勤が多い。

③ 鉄道利用者の小山駅からの交通手段

鉄道利用者は、小山駅から企業バスやコミュニティバス、自転車を使って出勤される方が比較的多い。

④ 通勤手当の支給状況

コミュニティバスとマイカーおよびバイク通勤者には、ガソリン代などの手当てが支給されている。

⑤ 通勤手段の企業方針

公共交通の利便性が低いことや交代勤務制であることなどを考慮して、すべての企業がマイカー通勤を従業員の裁量に任せ、認めている。なお、公共交通を推奨している企業は 2 社ある。

<企業来訪者の状況>

⑥ 来訪者の状況

各社には年間数十人から千人の来訪がある。来訪者の主な交通手段は、自動車（送迎含む）とタクシーとなっている。

<高岳引込線沿線地域について>

⑦ 活用意向

実際に運行しないとわからないと考えている企業が多い。

⑧ 会社のメリット

定時性が確保されることや企業バスの廃止、駐車場不足の問題解消、交通事故リスクの低減などがメリットとして考えられている。

⑨ 利用上の課題

運賃の問題をはじめ、出勤時間に合ったダイヤ設定や会社出入口付近の混雑、乗り継ぎ不便性などが懸念されている。

<高岳引込線に路面電車を走らせることについて>

⑩ 沿線の魅力

小山駅に近く利便性がよいことやイオンに近く買い物などが便利、ものづくりの工場や企業が集まることが評価されている。

⑪ その他意見

会社出入口などの横断箇所における自動車交通の支障や混雑、搬入・搬出への影響などが懸念されている。

企業名	A		B		C		D		E		F		G		H	
従業員数（人）	940		200（子会社含む）		2200		190		174		9		570		392	
始業時間																
常駐勤務	8時30分		8時30分		8時20分		8時30分		8時30分		7時30分		8時45分		4時00分	
交代勤務1	無		7時30分		8時20分		8時30分		7時30分		18時20分		8時00分		9時00分	
交代勤務2			22時00分		20時20分		14時30分		15時30分				15時00分		12時00分	
交代勤務3							23時30分		23時30分				23時30分		15時00分	
従業員の交通手段	市内	市外					市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
自家用車	500	250	170		1300		80	100	97	55	9		270	230	188	111
企業バス	-	-			30											
コミュニティバス	5	45			不明					1						3
タクシー			6		適用外											
バイク	10	0	7		15										4	
自転車	100	0	17		650		3		20			70		40		
徒歩	30	0			不明			7	1						46	
小山駅からの交通手段																
企業バス	-				30											
コミュニティバス	44				不明				1						3	
タクシー			6		適用外		1									
バイク	0				0											
自転車	1				120				1				5			
徒歩	0				不明		6									
通勤手当の支給																
自家用車	距離に応じ支給		毎月通勤費として支給		ガソリン代（走行距離に応じて）		当社規定による		2km以上		無		ガソリン代支給		距離1km当たり×〇〇（ガソリン価格変動）円	
コミュニティバス	運賃100%支給				利用者がいれば定期代を支給				定期代を支給				無		6ヶ月定期前払い	
タクシー					通勤手段として非適用		無		無				無		無	
バイク	距離に応じ支給		有		ガソリン代（走行距離に応じて）		当社規定による		2km以上				ガソリン代支給		距離1km当たり×〇〇（ガソリン価格変動）円	
自転車	距離に応じ支給		有		無		無		2km以上				無		2km以上で一律700円支給/月	
公共交通利用の推奨	していない		していない		していない		している		している		していない		していない		していない	
その理由	個人の選択		利便性を重視しているため		通勤手段は合理的経路（時間優先）としているため、公共交通以外が合理的経路の人も多数				駐車地積が決まっているため				勤務形態への対応のため		バスの本数が少なく不便なため	
自家用車通勤について	従業員の数に任せている		従業員の数に任せている		従業員の数に任せている		条件付きで認めている		条件付きで認めている		従業員の数に任せている		従業員の数に任せている		自家用車通勤を推奨している	
自家用車通勤容認の理由1	公共交通の利便性が低い		公共交通の利便性が低い		公共交通の利便性が低い		朝・夜の交代勤務がある		公共交通の利便性が低い		従業員の希望が多い		公共交通の利便性が低い		公共交通の利便性が低い	
自家用車通勤容認の理由2			朝・夜の交代勤務がある		朝・夜の交代勤務がある		従業員の希望が多い		朝・夜の交代勤務がある				朝・夜の交代勤務がある			
自家用車通勤容認の理由3			従業員の希望が多い		従業員の希望が多い				従業員の希望が多い				自家用車の方が通勤費用が少なくすむ			
年間来客者数（人/年間）															400万	
来客者の交通手段1															自動車	
来客者の交通手段2															徒歩	
年間来訪者数（人/年間）	1000		600		約2000（2015年度実績、お客様のみ。他事業所、関係会社等1000人/月来工）		120		150		20		約500		5000	
来訪者の交通手段1	タクシー		自動車（自車）		自社送迎バス		自動車（送迎）		タクシー		自動車（自車）		タクシー		自動車（自車）	
来訪者の交通手段2			タクシー		自動車（自車）		タクシー									
来訪者の交通手段3					徒歩											
来訪者の交通手段4					タクシー											
高岳引込線の活用	活用する		実際に運行しないとわからない		実際に運行しないとわからない		実際に運行しないとわからない		実際に運行しないとわからない		活用しない		（積極的には）活用しない		実際に運行しないとわからない	
会社のメリット	乗車確保と安定的な運行時間が期待できる		電車利用者（通勤、出張）の新たな足となる		通勤用（遠方者限定）バス1便、出張者、来訪者用シャトルバス13便を廃止することができる。		実際に運行しないとわからない		車および自転車の通勤者が減少し、駐車場満車が解消できる。				車を使用せずに来店できるようになれば、JR沿線の新規顧客が増える。			
利用上の課題	特になし		就業時間に合ったダイヤとなるか		停留所から工場までの所要時間、小山駅での乗換時間、運行本数によっては現状の方が速く会社に到着することにならないか。		近隣道路状況および、当社入場口前の混乱		出勤時間に合った時間帯で運行されるか。		時間的な問題。勤務時間誤差時		交代勤務に係る操業への支障		現在、車で通勤している者が大半だが、通勤には使用しない。バス、自転車通勤している者で、引込線を使って通勤をする者は数名程度と予想。しかし、今後の新規採用では、多少増加が見込まれる。	
			料金設定		車両の乗車キャバによっては、一度に乘れず何便か待たされることは起きないか。 料金によっては、コストの増加につながる。 弊社のそばの引込線付近は、車通勤者の通行が多く、歩行者との事故リスクの措置をどうするか。				料金ほどの程度に設定されるのか（バスが200円）。				通勤費支給額のUP			
地域の魅力	イオンに近く買い物などが便利		ものづくりの工場や企業が集まる		小山駅に近く利便性がよい				小山駅に近く利便性がよい		将来小山市財政の負担になる。		企業としては該当なし		小山駅に近く利便性がよい	
その他ご意見	特になし		当社は市道を挟んだ土地となっており、その土地にダンブが仕事で行き来しているので、安全面で不安がある。		特になし		この質問形式も、悪い意見の吸い上げとしては弱く、恣意的に感じる。もっと、採算性とか具体的な材料をもって進めてほしい。 近隣の交通状況、構内を修繕せねばならなくなるという状況が発生した場合は、その辺の保障を含め相談させていただきます。		近くで線路が道路を横断するのが、遮断機および警報機の設置が必要。 鉄道の客車としての利用については、高額のメンテナンス費用等が高額であり、利用者に対して市全体に対する負担になる。この高岳線導入が車両の混雑につながる。理由として、朝夕の車両の通行に混雑が出る。		従業員は通勤圏を見ると、通勤における利便性の向上は低いかもしれない。逆に渋滞の発生を想定すると、周辺住民含め不便を被る人があるかもしれない。 会社としては、原料の搬入や出荷時、操業への影響懸念もあることから、その点への配慮・対応をお願いしたい。					

沿線企業様へのアンケート調査票

企業名 ()

問1. 従業員の通勤交通について、お聞きします。

(1) 従業員は何人ですか。

[] 人

(2) 始業時間は何時ですか。

1 常昼勤務 [] 時 [] 分

2 交代勤務
① [] 時 [] 分
② [] 時 [] 分
③ [] 時 [] 分

(3) 従業員の通勤手段を教えてください。

	市内	市外
1 コミュニティバス (小山駅からコミュニティバス)	[] 人	[] 人
2 企業バス	[] 人	[] 人
3 自家用車	[] 人	[] 人
4 バイク	[] 人	[] 人
5 自転車	[] 人	[] 人
6 徒歩	[] 人	[] 人

(4) 上記のうち、鉄道を利用している方の小山駅から企業への交通手段を教えてください。

1 企業バス	[] 人
2 コミュニティバス	[] 人
3 バイク	[] 人
4 自転車	[] 人
5 徒歩	[] 人

(5) 通勤手当の支給について教えてください。

1 コミュニティバス	有・無 (内容)
2 自家用車	有・無 ()
3 バイク	有・無 ()
4 自転車	有・無 ()

(6) 通勤手段として公共交通の利用を推奨していますか。

1 している 2 していない
(理由)

(7) 自家用車通勤について、貴社の方針に最も近い考えはどれですか。(一つに○)

1 自家用車通勤を推奨している 4 本社等の判断に任せている
2 自家用車通勤を禁止している 5 条件付きで認めている
3 従業員の裁量に任せている 6 原則禁止している
7 その他 ()

(8) 上の質問で「6 原則禁止している」以外を選択された企業に伺います。
自家用車通勤を認めている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 公共交通の利便性が低い 4 自家用車の方が通勤費用が少なくすむ
2 朝・夜の交代勤務がある 5 業務で自家用車を使う
3 従業員の希望が多い 6 その他 ()

問2. 貴社への来訪者について、お聞きします。

(1) 来訪者は年間何人ですか。

[] 人/年間

(2) 来訪者の企業への主な交通手段は何ですか。

1 コミュニティバス 5 バイク
2 自社送迎バス 6 自転車
3 自動車 (自車) 7 徒歩
4 自動車 (送迎) 8 タクシー
9 その他 ()

問3. (通称) 高岳引込線に路面電車を走らせることについて、お聞きします。

(1) 従業員の通勤手段として活用しますか。

- 1 活用する 2 活用しない 3 実際に運行しないとわからない

(2) 会社としてどのようなメリットが考えられますか。

(3) 貴社が通勤手段として利用する上で、どのような課題がありますか。

問4. 高岳引込線の沿線地域について、お聞きします。

(1) 地域の魅力は何だと思えますか。主なものを1つだけ選んでください。

- 1 小山駅に近く利便性がよい 5 白鷲大学や小山高専などの教育・研究機関が立地
 2 田んぼなどの緑が豊か 6 ものづくりの工場や企業が集まる
 3 診療所などが近くにあって安心できる 7 その他具体的に
 4 イオンに近く買い物などが便利 ()

(2) その他ご意見をお聞かせください。

運行イメージ

- ・延長：4.8km (小山駅東口～榑東光高岳)
- ・所要時間：片道15～20分
- ・運行時間帯：JR小山駅の始発～終電
- ・停留所：9箇所程度(約600m間隔)
- ・道路状況に巻き込まれることなく、時刻通りに運行

既存施設 凡例

高等・大学	高岳引込線
工場	JR線
市役所・出張所	検封施設 凡例
高齢者交流施設	停留所
子育て支援施設	

沿線図

※この内容は現段階の想定であり、決定事項ではございません。

路面電車

近代 LRT
(次世代型路面電車)

新電池式車両

DMV
(軌道と道路の双方を走ることのできる車両)

(2)-2 学校

<通学交通の状況>

① 通学の交通手段

- ・小山高専は、自転車通学が多い。また、コミュニティバスを使う通学者もいる。
- ・白鷗大学は、小山駅からのスクールバス利用が最も多く、次いでマイカーやバイク、自転車が多い。

② 公共交通利用の推奨状況

- ・小山高専は公共交通利用を推奨し、白鷗大学は推奨していない。

③ 学校への来訪者状況

- ・各学校は年間6、7千人近くの来訪があり、コミュニティバスや自動車などが交通手段として使われている。

<高岳引込線に路面電車を走らせることについて>

④ 高岳引込線の活用意向

- ・小山高専は活用する意向がある。白鷗大学は、実際に運行しないとわからないと回答。

⑤ 学校のメリット

- ・小山高専は、通学の安全性向上や定時制の確保に期待している。

⑥ 利用上の課題

- ・停留所近隣に居住する住民とのトラブル発生が懸念されている。

<活用地域について>

⑦ 地域の魅力

- ・教育・研究機関の立地、イオンに近く買い物が便利が評価されている。

学校名	小山工業高等専門学校		白鷗大学	
学生数（人）	1061		4800	
始業時間	8時40分		9時00分	
学生の交通手段	市内	市外	市内	市外
スクールバス	-	-	100	1000
コミュニティバス	0	56	0	0
自家用車			300	500
バイク			300	500
バイク・車	4	128		
自転車	131	578	700	100
徒歩	2	0	300	0
小山駅からの交通手段				
スクールバス	-		1000	
コミュニティバス	56		0	
自家用車			500	
バイク			100	
バイク・車	0			
自転車	548		800	
徒歩	0		200	
公共交通利用の推奨	している		していない	
その理由				
年間来訪者数（人/年間）	7045		5800	
来訪者の交通手段1	コミュニティバス		自動車（自車）	
来訪者の交通手段2	自動車（自車）			
来訪者の交通手段3	自動車（送迎）			
来訪者の交通手段4	自転車			
来訪者の交通手段5	徒歩			
来訪者の交通手段6	タクシー			
来訪者の交通手段7	借り上げバス			
高岳引込線の活用	活用する		実際に運行しないとわからない	
学校のメリット	安全に通学ができる。 時間が確実である。		特段のメリットは考えられない。	
利用上の課題	朝の短い時間に学生が集中する。 もし駅が住宅街の真ん中に造られたら、住民とのトラブルになりかねない。		利用する学生にとって、授業の終了後アルバイトを行う際、他への移動手段が少なく、アルバイト先が駅周辺に限定され不便を感じるか。	
地域の魅力	白鷗大学や小山高専などの教育・研究機関が立地		イオンに近く買い物などが便利	
その他ご意見	<p>学生は朝7:30～8:30に最も集中すると思われます。（約600名）この時間帯に、1編成の車両を増やす（通常2両を3両になど）ことや運行数を増やす（15分おきに4本など）などの措置をとっていただけると助かります。</p> <p>駅が東ニュータウンの中ほどになってしまうと、学生たちはニュータウンの住宅街の中を通ることとなり、住民のご迷惑となりかねません。できれば表通りに近い所に駅を設置していただけますようお願いいたします。駐輪場を駅に設置要望。</p> <p>運賃は、現在のコミュニティバス（営業バス）と同額の200円が望ましいと存じます。定期券の設定もご検討ください。</p>		<p>沿線に住んでいてJRを利用している生徒、沿線の企業に勤務している方で、JRを利用している方にとっては便利であろう。しかし、他の人たちの利用を上げるには、沿線に魅力ある商業施設や住宅地がないと増えないのではないか。周辺環境整備が求められる。</p>	

2.3 桑・絹地域へのアンケート調査結果

(1) 実施概要

- ① 調査日 2016年8月
- ② 調査対象 デマンドバス利用者
- ③ 調査方法 イオンの前で聞き取り
- ④ 調査内容
 - ・回答者の個人属性
(居住地、性別、年齢、職業、運転免許の有無、自動車の有無)
 - ・普段の外出について(外出目的、頻度、交通手段、行き先)
 - ・高岳引込線沿線のまちづくりについて(地域の魅力)
 - ・高岳引込線に路面電車を走らせることについて
(運行条件、利用方法、運行メリット)

(2) 実施結果

質問1 あなた自身のことについて、お尋ねします。

(1) 住まい

項目	集計値	構成比
高橋	3	33.3%
延島	2	22.2%
田川	1	11.1%
西高橋	1	11.1%
向	1	11.1%
出井	1	11.1%
合計	9	100.0%

(2) 性別

項目	集計値	構成比
男性	0	0.0%
女性	9	100.0%
合計	9	100.0%

(3) 年齢

項目	集計値	構成比
15～19歳	1	11.1%
20～29歳	0	0.0%
30～39歳	1	11.1%
40～49歳	0	0.0%
50～59歳	1	11.1%
60～64歳	0	0.0%
65～74歳	2	22.2%
75～84歳	2	22.2%
85歳以上	2	22.2%
合計	9	100.0%

(4) 職業

項目	集計値	構成比
会社員・公務員	1	11.1%
自営業	0	0.0%
パート・アルバイト	0	0.0%
主婦・家事手伝い	3	33.3%
学生	0	0.0%
無職	4	44.4%
その他	1	11.1%
合計	9	100.0%

(5) 運転免許の所有状況

免許を持っていない方が多い。

項目	集計値	構成比
普通自動車免許	1	11.1%
二輪車・原付のみ	1	11.1%
免許なし	7	77.8%
合計	9	100.0%

(6) 自由に使える自動車の有無

自動車を持っていない方が多い。

項目	集計値	構成比
ほぼ自由に使える車がある	0	0.0%
家族共有の車がある	3	33.3%
ない	6	66.7%
合計	9	100.0%

質問2 普段（平日）の外出についてお尋ねします。

(1) 自宅からの頻度の多い外出目的は何ですか。（1つ選択）

買物や通院・見舞い、娯楽・レジャーが多い。
通勤・通学は少ない。

項目	集計値	構成比
通勤	1	10.0%
通学	0	0.0%
仕事	1	10.0%
買物	2	20.0%
通院・見舞い	3	30.0%
娯楽・レジャー	3	30.0%
その他私用	0	0.0%
合計	10	100.0%

※複数回答：1名

(2) それほどの程度の頻度ですか。（1つ選択）

月に1日の外出頻度をもっとも多い。

項目	集計値	構成比
ほぼ毎日	2	22.2%
週に2,3日	0	0.0%
週に1日	1	11.1%
月に2,3日	2	22.2%
月に1日	4	44.4%
月に1日未満	0	0.0%
合計	9	100.0%

(3) その時の主な交通手段は何ですか。(1つ選択)

コミュニティバスを利用している方が多い。

項目	集計値	構成比
鉄道	0	0.0%
コミュニティバス（おーバス）	7	77.8%
その他のバス（企業バス等）	0	0.0%
自動車（自分で運転）	0	0.0%
自動車（送迎、同乗、タクシー）	1	11.1%
バイク	0	0.0%
自転車	1	11.1%
徒歩のみ	0	0.0%
合計	9	100.0%

(4) その時の主な行き先(目的地)はどこですか。(1つ選択)

イオンと病院が、主な行き先となっている。

駅東通り町 3丁目	1
イオン	3
市民病院	1
本郷	1
イオン、病院	1
イオン、市民病院	1
暁クリニック	1

質問3 高岳引込線の沿線のまちづくりについてお尋ねします。

この地域の魅力は何だと思いますか。(主なものを1つ選択)

イオンに近く買い物などが便利と評価されている方が多い。

項目	集計値	構成比
小山駅に近く利便性がよい	1	11.1%
田んぼなどの緑が豊か	2	22.2%
診療所などが近くにあって安心できる	0	0.0%
イオンに近く買い物などが便利	4	44.4%
白鷗大学や小山高専などの教育・研究機関が立地	0	0.0%
ものづくりの工場や企業が集まる	0	0.0%
その他具体的に	0	0.0%
無回答	2	22.2%
合計	9	100.0%

質問4 高岳引込線に電車を走らせることについてお尋ねします。

(1) 運行条件についてお尋ねします。

① 全区間同じ料金とした場合、最大いくらなら乗りますか。(1つ選択)

200円以下が最も多い。

項目	集計値	構成比
200円以下	6	66.7%
300円以下	3	33.3%
400円以下	0	0.0%
合計	9	100.0%

② 1時間に上り下りそれぞれずつ何本運行すれば乗りますか。(1つ選択)

1時間に2本の運行が最も多い。

項目	集計値	構成比
1本	2	22.2%
2本	6	66.7%
3本以上	1	11.1%
合計	9	100.0%

③ どんな車両に乗りたいですか。(表面の車両イメージを参考に1つ選択)

レトロと近代的に二分。

（その他の意見
・どちらでもいい）

項目	集計値	構成比
レトロ	4	44.4%
近代的	4	44.4%
その他	1	11.1%
合計	9	100.0%

④ 停留所に隣接した駐輪場や駐車場は必要だと考えますか。(1つ選択)

どちらとも言えないが最も多い。

項目	集計値	構成比
駐輪場は必要である	2	22.2%
駐車場は必要である	0	0.0%
両方必要である	1	11.1%
両方必要ない	0	0.0%
どちらとも言えない	5	55.6%
無回答	1	11.1%
合計	9	100.0%

(2) 利用方法についてお尋ねします。

① どのような目的で利用しますか。(主なものを1つ選択)

普段の外出と同様、買物や通院・見舞が多い。

（その他の意見
・好奇心）

項目	集計値	構成比
通勤	1	9.1%
通学	0	0.0%
仕事	0	0.0%
買物	3	27.3%
通院・見舞い	3	27.3%
娯楽・レジャー	1	9.1%
その他	1	9.1%
無回答	2	18.2%
合計	11	100.0%

※複数回答：2名

② ご利用の頻度はいかがですか。(1つ選択)

普段の外出と同様の傾向で、月に1日が最も多い。

項目	集計値	構成比
ほぼ毎日利用	1	11.1%
週に2,3日利用	1	11.1%
週に1日利用	0	0.0%
月に2,3日利用	3	33.3%
月に1日利用	4	44.4%
それ以下	0	0.0%
合計	9	100.0%

③ どの停留所間を主に利用しますか。(表面の沿線図の番号でお答えください。)

小山駅を起終点とした移動が多い。

項目	集計値	構成比
9→8	4	44.4%
9→1	5	55.6%
合計	9	100.0%

(3) 運行メリットについてお尋ねします。

① 高岳引込線に路面電車を走らせると、小山市にどんなメリットがあると思いますか。

高齢者等の公共交通の利用機会の増加を期待する意見が最も多い。次いで、小山市への転入者の増加が多い。

（その他の意見
・高校生が遊びやすくなる）

項目	集計値	構成比
高齢者等の公共交通の利用機会の増加	6	50.0%
環境負荷の低減	0	0.0%
中心部の駐輪場の混雑緩和	0	0.0%
まちのシンボルの創出	0	0.0%
小山市への転入者の増加	4	33.3%
特になし	0	0.0%
その他	1	8.3%
無回答	1	8.3%
合計	12	100.0%

※複数回答：3名

(4) 自由なご意見をお書きください。

- ・イオンに近いといい (3)
- ・高岳引込線を利用することは良いと思う (2)
- ・実現してほしい
- ・買い物できる場所に停留所を作ってほしい
- ・停留所に椅子、屋根があると良い

桑・絹地区の皆様へのアンケート

質問1 あなた自身のことについて、お尋ねします。

(1) 住まい () 大字 () 町 () 丁目

(2) 性別 1 男性 2 女性

(3) 年齢 1 15～19歳 2 20～29歳 3 30～39歳 4 40～49歳 5 50～59歳 6 60～64歳 7 65～74歳 8 75～84歳 9 85歳以上

(4) 職業 1 会社員・公務員 2 自営業 3 パート・アルバイト 4 主婦・家事手伝い 5 学生 6 無職 7 その他

(5) お持ちの運転免許 1 普通自動車免許 2 二輪車・原付のみ 3 免許なし

(6) 自由に使える自動車の有無 1 ほぼ自由に使える車がある 2 家族共有の車がある 3 ない

質問2 普段(平日)の外出についてお尋ねします。

(1) 自宅からの頻度の多い外出目的は何ですか。(1つ選択)

1 通勤 2 通学 3 仕事 4 買物
5 通院・見舞い 6 娯楽・レジャー 7 その他私用 ()

(2) それほどの頻度の頻度ですか。(1つ選択)

1 ほぼ毎日 2 週に2,3日 3 週に1日
4 月に2,3日 5 月に1日 6 月に1日未満

(3) その時の主な交通手段は何ですか。(1つ選択)

1 鉄道
⇒自宅からの乗車駅 () 駅
⇒自宅から駅までの交通手段
(最も長い距離利用する手段を1つ選択)
1 コミュニティバス (おーバス) 5 バイク
2 その他のバス 6 自転車
3 自動車 (自分で運転) 7 徒歩
4 自動車 (送迎、同乗)

2 コミュニティバス (おーバス)
3 その他のバス (企業バス等)
4 自動車 (自分で運転)
5 自動車 (送迎、同乗)
6 バイク
7 自転車
8 徒歩のみ

(4) その時の主な行き先(目的地)はどこですか。(1つ選択)

1 小山市内 () 町 () 丁目 住所が不明の場合は、目標物をご記入ください。
例：〇〇スーパー、〇〇診療所など
2 小山市以外 () 市町村

質問3 高岳引込線の沿線のまちづくりについてお尋ねします。

この地域の魅力は何だと思いますか。(主なものを1つ選択)

1 小山駅に近く利便性がよい 5 白岡大学や小山高専などの教育・研究機関が立地
2 田んぼなどの緑が豊か 6 ものづくりの工場や企業が集まる
3 診療所などが近くにあって安心できる 7 その他具体的に ()
4 イオンに近く買い物などが便利

質問4 高岳引込線に電車を走らせることについてお尋ねします。

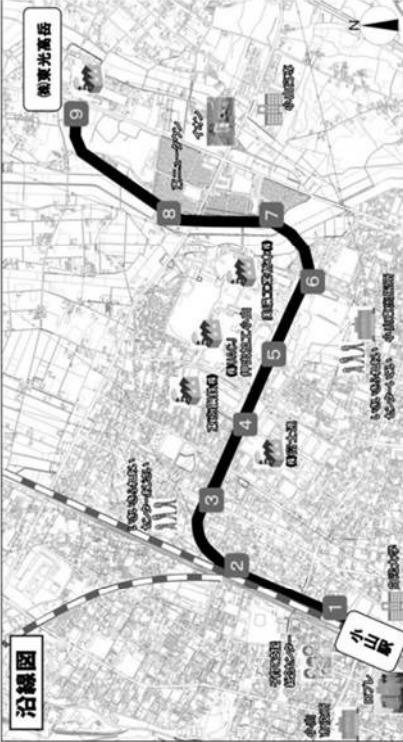
※以下の内容は現段階の想定であり、決定事項ではございません。
※沿線のまちは今のままと仮定。

運行イメージ

- ・ 区 長 : 4.8km (小山駅東口～津浪光高岳)
- ・ 所要時間 : 片道 15～20分
- ・ 運行時間 : JR小山駅の始発～終電
- ・ 停留所 : 9箇所程度 (約600m間隔)
- ・ 道路状況に巻き込まれることなく、時刻通りに運行

既存施設 凡例

高専・大学	高岳引込線
工場	沿線
併設所・出張所	検討施設 凡例
高齢者交流施設	伊野所
子育て支援施設	



車両イメージ

近代的 路面電車

LRT (次世代型路面電車)

蓄電池式車両

DMV (軌道と道路の双方を走ることのできる車両)

(1) 運行条件についてお尋ねします。

① 全区間同じ料金とした場合、最もいくらなら乗りますか。(1つ選択)

1 200円以下 2 300円以下 3 400円以下

② 1時間に上り下りそれぞれずつ何本運行すれば乗りますか。(1つ選択)

1 1本 2 2本 3 3本以上

③ どのような車両に乗りたいですか。(表面の車両イメージを参考に1つ選択)

1 レトロ 2 近代的 3 その他 ()

④ 停留所に隣接した駐輪場や駐車場は必要だと考えますか。(1つ選択)

1 駐輪場は必要である 2 駐車場は必要である
3 両方必要である 4 両方必要ない 5 どちらとも言えない

(2) 利用方法についてお尋ねします。

① どのような目的で利用しますか。(主なものを1つ選択)

1 通勤 2 通学 3 仕事 4 買物
5 通院・見舞い 6 娯楽・レジャー 7 その他 ()

② ご利用の頻度はいかがですか。(1つ選択)

1 ほぼ毎日利用 2 週に2,3日利用 3 週に1日利用
4 月に2,3日利用 5 月に1日利用 6 それ以下

③ どの停留所間を主に利用しますか。(表面の沿線図の番号 **番号** でお答えください。)

乗車【 】番 → 降車【 】番

(3) 運行メ리트についてお尋ねします。

① 高岳引込線に路面電車を走らせると、小山市にどんなメリットがあると思いますか。

1 高齢者等の公共交通の利用機会の増加 4 まちのシンボルの創出
2 環境負荷の低減 5 小山市への転入者の増加
3 中心部の駐輪場の混雑緩和 6 特になし
7 その他具体的に ()

(4) 自由なご意見をお書きください。

(例：運行区間の延伸、停留所の場所、車両のイメージ、
料金の割引(車の運転免許返納後の支援など))

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

2.4 市民等へのアンケート調査結果

(1) 実施概要

- ① 調査日 2016年8月上旬
- ② 調査対象 市施設への来訪者（キッズランド、まちかど美術館、市役所出張所等）
- ③ 調査方法 聞き取り調査
- ④ 調査内容
 - ・回答者の個人属性（居住地、性別、年齢）
 - ・高岳引込線の沿線地域の魅力
 - ・高岳引込線に路面電車を走らせることについて
(運行メリット、車両イメージ、今後必要な取り組み)
- ⑤ 回収数 235（市内居住者 145 + 市外居住者 90）

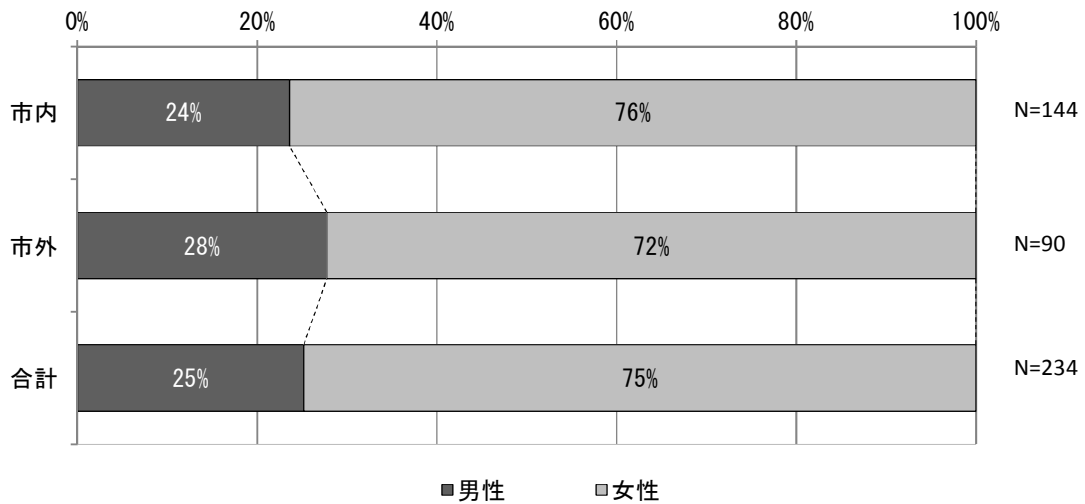
来訪者の居住地		回収数
市 内	小山地区	46
	間々田地区	42
	大谷地区	26
	豊田地区	4
	穂積地区	3
	中地区	3
	寒川地区	3
	生井地区	8
	桑地区	7
	絹地区	3
		145
市 外	90	
合 計	235	

(2) 実施結果

問1. 回答者の個人属性

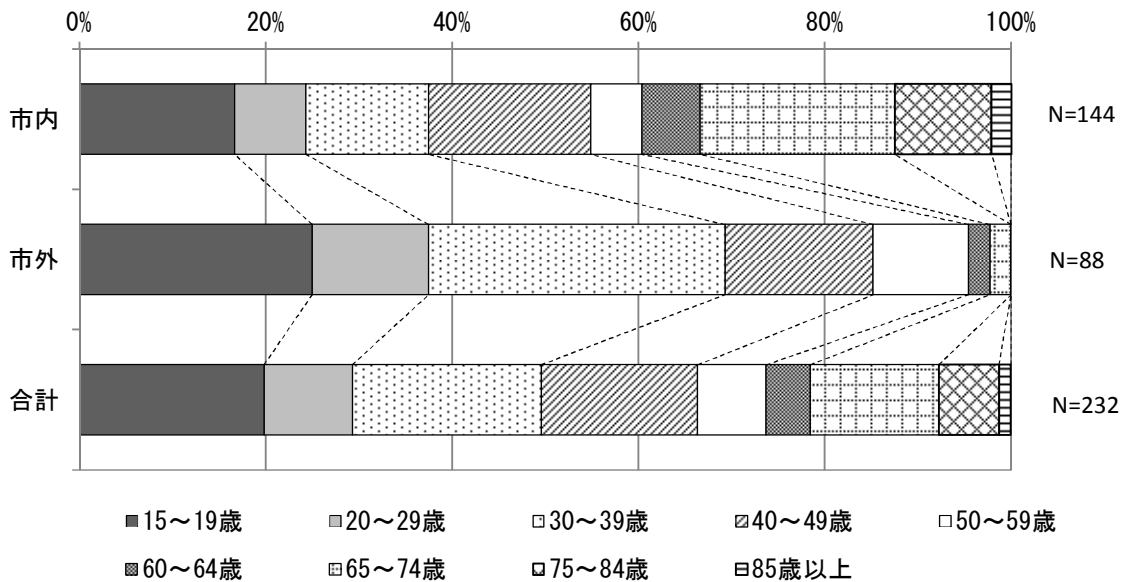
①性別

男女それぞれから回答を得た。



②年齢

若年層から子育て世代、高齢者まで幅広い世代から回答を得た。

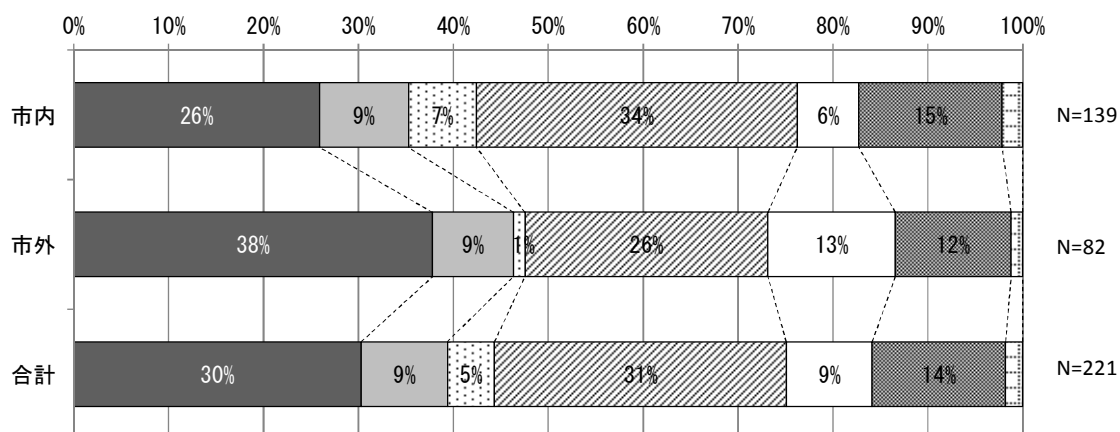


	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~74歳	75~84歳	85歳以上
市内	17%	8%	13%	17%	6%	6%	21%	10%	2%
市外	25%	13%	32%	16%	10%	2%	2%	0%	0%
合計	20%	9%	20%	17%	7%	5%	14%	6%	1%

問2. 沿線地域の魅力（択一）

沿線地域の魅力としては、「小山駅に近く利便性がよい」と「イオンに近く買い物などが便利」が多くなっている。

市内居住者と市外居住者を比べると、「白鷗大学や小山高専などの教育・研究機関が立地」は、市内より市外の割合が比較的大きい。一方、「診療所などが近くにある安心できる」は、市外より市内の割合が比較的大きい。



- 小山駅に近く利便性がよい
- 診療所などが近くにある安心できる
- 白鷗大学や小山高専などの教育・研究機関が立地
- その他
- 田んぼなどの緑が豊か
- イオンに近く買い物などが便利
- ものづくりの工場や企業が集まる

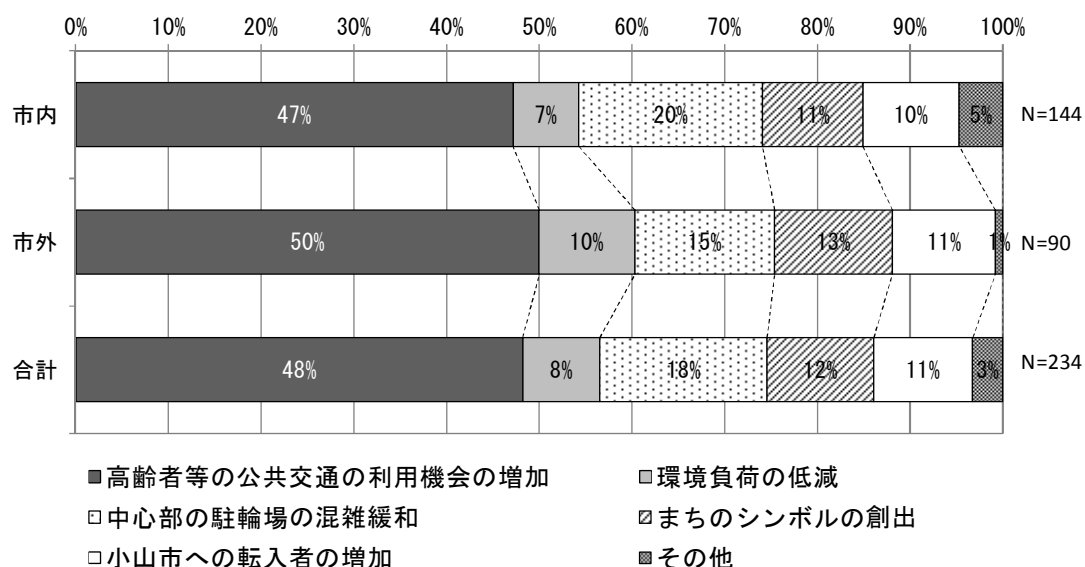
	小山駅に近く利便性がよい	田んぼなどの緑が豊か	診療所などが近くにある安心できる	イオンに近く買い物などが便利	白鷗大学や小山高専などの教育・研究機関が立地	ものづくりの工場や企業が集まる	その他	計
市内	36	13	10	47	9	21	3	139
	26%	9%	7%	34%	6%	15%	2%	100%
市外	31	7	1	21	11	10	1	82
	38%	9%	1%	26%	13%	12%	1%	100%
合計	67	20	11	68	20	31	4	221
	30%	9%	5%	31%	9%	14%	2%	100%

問3. 高岳引込線に路面電車を走らせることについて

①運行メリット（小山市全体へのメリット）（複数選択）

高岳引込線に路面電車を走らせることのメリットは、「高齢者等の公共交通の利用機会の増加」が約5割を占めている。

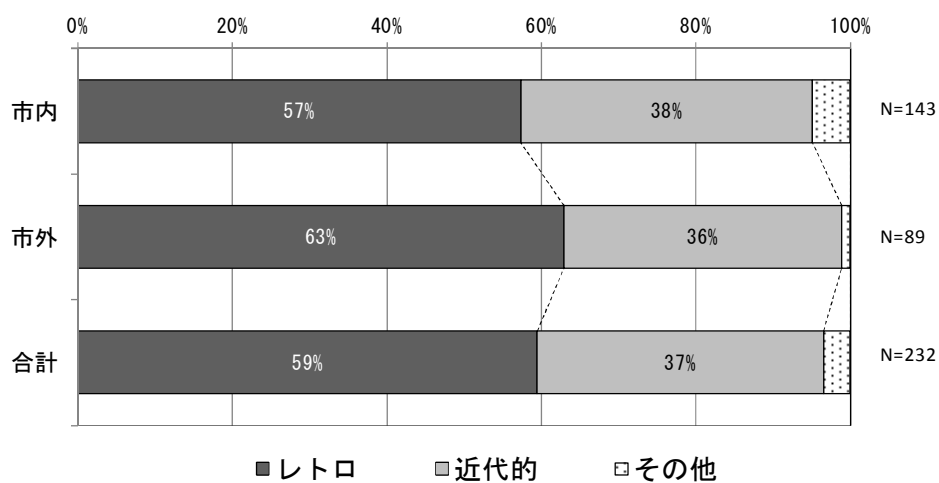
市内居住者と市外居住者はおおむね同傾向であるが、「環境負荷の低減」は市内より市外の割合が比較的大きい。一方、「中心部の駐輪場の混雑緩和」は市外より市内の割合が比較的大きい。



	高年齢者等の公共交通の利用機会の増加	環境負荷の低減	中心部の駐輪場の混雑緩和	まちのシンボルの創出	小山市への転入者の増加	その他	計
市内	100	15	42	23	22	10	212
	47%	7%	20%	11%	10%	5%	100%
市外	63	13	19	16	14	1	126
	50%	10%	15%	13%	11%	1%	100%
合計	163	28	61	39	36	11	338
	48%	8%	18%	12%	11%	3%	100%

②どんな車両が走ったらよいと思うか（択一）

市内・市外共通で近代的よりレトロな車両の割合が高くなっている。



	レトロ	近代的	その他	計
市内	82	54	7	143
	57%	38%	5%	100%
市外	56	32	1	89
	63%	36%	1%	100%
合計	138	86	8	232
	60%	37%	3%	100%

③今後必要な取り組み

今後必要な取り組みとして、商業施設の誘導をはじめ、路面電車等の公共交通サービスの充実や子どもの遊び場づくり、スポーツ施設の整備、子育て支援の充実、高齢者施設等の充実、学習施設の充実、公園の整備、多世代が交流する場づくりなどが挙げられている。

	市内	市外
商業施設の誘導 46	<ul style="list-style-type: none"> ・ 停留所近くにスーパーがほしい ・ スーパーマーケットの設置 ・ スーパーの設置 ・ スーパーマーケット ・ ショッピングモール (9) ・ 買い物ができる所 ・ 大型商業施設 ・ 小山の中心に買い物ができる大型店の設置 ・ 買い物しやすい施設 ・ お店の設置 ・ 商業施設 ・ 商業施設があれば利用する人が増えると思うが、イオンでは弱い ・ カフェ ・ 飲食店 ・ ファミリーレストラン ・ 食事会ができるような所 ・ ロブレに高くないレストラン ・ ロブレにお店を増やしてほしい ・ ロブレにデパート、食事処があればうれしい。 ・ 雑貨屋さん ・ アウトレット ・ おもちゃ屋 ・ 駄菓子屋 ・ ドンキホーテ ・ コンビニ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ショッピングセンターがほしい ・ ショッピングモール (7) ・ いろんな世代の人が行きやすいショッピングモール ・ 大きいお店 (イオンのような) があると良い ・ 買い物できる所 ・ カラオケ ・ カフェ
	33	13
路面電車等の公共交通サービス充実 32	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路面電車の横断による渋滞が考えられるため対策が必要 ・ 路面電車による交通渋滞への懸念 ・ 電車による交通渋滞を起こさない取り組み ・ 便が良くなるように本数を増やす ・ デマンド電車 ・ 線路がイオンに延びてほしい ・ 停留所 20ヶ所 ・ 路線を増やす ・ 線路がイオンに延びてほしい ・ 電車の運賃は 200 円まで ・ 100 円くらい ・ 路面電車の運賃は 100 円程度 (距離関係なし) ・ 電車の運賃はバスと同じ料金、または安い ・ 使用時の値段を安値に ・ お座敷列車であれば乗りたい ・ 都電荒川線のような人を呼ぶ電車 ・ バスが不便 ・ バスの本数を増やしてほしい ・ 市バスの本数増加 ・ 市バスの中地区への運行 ・ 市民病院のバスが少ない。 ・ 自転車の貸し出し ・ 駐輪場 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 片道 300 円 ・ おーばすの運賃(200 円) と同額くらいの料金で運行 ・ バスと同じ料金 ・ 20 分くらいで運転 ・ 停留所に休憩場所 ・ ルートを変えたほうがよい ・ もともと車で生活している人が多いので、混雑緩和にはならないと思うので、電車が通ることさらに混まないような工夫をしてもらいたい ・ 街中にも駐輪場がほしい ・ レンタサイクルがあって観光地を回れる
	23	9

子どもの遊び場づくり 28	<ul style="list-style-type: none"> 遊び場を増やす 子供が遊べる屋外プール 子供の遊び場を増やす 子供の遊び場（室内） 子供が遊べる場所(室内外) 子供が遊べる場所（2） 子供や中高生が遊べる場所 遊ぶ場所 遊べる場所 工場が多いため、空気のきれいな、子どもの遊べる施設がほしい 遊園地 ゲームセンター 子供向け施設 子供が安全に過ごしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して子供があそべる大きな施設 子供と遊べる施設 子供が遊べるところ 子供が遊べる施設（2） 遊び場 子供の遊び場、食事が一緒にできるところ 子供は電車好き 子供が動植物と触れ合う事ができる 子供にやさしい街 子供にやさしい（2） 子供が過ごしやすい街になってほしい
	15	13
スポーツ施設の整備 16	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設（2） スポーツができるエリア 種目に制限のない、自由に(有料)使える体育館の増設 気軽に行けて体を動かせる所 スポーツをしやすい街 スポーツができる施設(市立体育館)があると良い。 屋外プール 室内プール プール（2） 	<ul style="list-style-type: none"> 高校から県南プールまで少し距離があるので、競泳の練習ができるプールをつかってほしい プール 体育館 スポーツができるところ（県南体育館以外で） スポーツ施設
	11	5
子育て支援の充実 15	<ul style="list-style-type: none"> 子供を育てやすい 子育てしやすい町 子育て支援 駅近くの保育施設の設置 子育てしやすい街づくり イオン周辺に児童館がほしい 無料で遊べる児童館の増設 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てを大事にする 子育てしやすい街 子育て充実 子育て環境に強みがあると、若い人にもよいと思う 子育て 地球、子供たちに優しい街づくり 子育て関連の施設があるとよい（児童館のような） 沿線で駅ごとに食べたり楽しめるといい（子供をつれて）
	7	8
高齢者施設等の充実 14	<ul style="list-style-type: none"> 福祉の向上を希望 高齢化社会に向けた、高齢者に優しい街づくりを希望 高齢者の住みやすい街づくり。 安値の老人ホーム 老人ホームの増設（2） 老人ホームがあるといい キッズランドの隣に高齢者施設 高齢者交流施設（2） 	<ul style="list-style-type: none"> 8，9あたりの停留所にも高齢者交流施設、停留所直結の施設 高齢者の買い物が便利になる 高齢者に優しい街 高齢者が住みやすい街
	10	4
学習施設の充実 13	<ul style="list-style-type: none"> 図書館など勉強ができる場所 午後9時くらいまで、自由に学習できるスペース（図書館の成人用の机が少ない） 学習スペース 教育施設(図書館、学習室)があると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館がほしい 図書館 勉強施設と小さな子供たちの遊べる場所を増やすといい（分けてあると勉強したい人は集中できて、遊びたい子供たちは気にせずわいわいできる。例：1Fと2Fに分けるなど） 学習センター 勉強がしやすいところ 勉強できる施設 学習スペース（2） 小・中学校をもっときれいな施設にしてほしい
	4	9

公園の整備 12	<ul style="list-style-type: none"> 公園 (2) 公園の設置 大きい公園 みんなが集まれる大きな公園 目の保養になるような公園やお花畑 	<ul style="list-style-type: none"> 自然と親しむことができる 公園 目印となる公園など 大きい公園があれば、子供が遊びに来れ一日遊べる 公園の整備 小山はまともな公園が少なすぎ (小学生が遊べる公園がほしい)
	6	6
多世代が交流する場づくり 11	<ul style="list-style-type: none"> 子供から老人まで継続的に利用できる場所 高齢者や学生が集う場 沿線の近くに車を自分で運転しない世代 (子ども、お年寄り) が利用する施設があると良い 子どもや老人の憩いの場所づくり 子育て、高齢者を大切にする 子供や高齢者が使いやすい街 交流施設の設置 (2) 交流の場の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 集まれる場所がほしい 多くの人年齢関係なく遊べる場所
	9	2
小山駅駅前等の活性化 6	<ul style="list-style-type: none"> 小山駅周辺の商店街の充実 駅近くに若い人が利用できる、落ち着けるような店舗づくり 市のイメージアップのため、駅前の活性化 駅前通り(西側)の活性化 賑わいづくり 地域の活性化をお願いしたい。 	—
	6	0
病院の誘導 5	<ul style="list-style-type: none"> 市民病院 病院(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 病院 医療機関
	3	2
市のシンボルの創出 3	<ul style="list-style-type: none"> 小山市のシンボルとなるものが必要 特徴がないため、シンボルのようなもの 	<ul style="list-style-type: none"> 市の大きなシンボルがないので何かあると良い
	2	1
住宅地づくり 3	<ul style="list-style-type: none"> 新しい住宅街 小山駅の交通の利便性を最大限に利用した都心者向けのニュータウンや老人ホーム 細かく駅をつくって住宅をつくる 	—
	3	0
観光振興 2	<ul style="list-style-type: none"> 街の観光の宣伝をする 観光客を呼べるような施設等の設置 (例：河口湖のバス) 	—
	2	0

<p>その他 26</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅 ・ 街灯を増やし安心して生活したい ・ ワークショップ ・ 路面電車には目的があれば乗ると思う ・ 温泉 ・ 東京に近い事を生かした街づくり ・ 公共施設において、エナジートロン付きのシートをやってほしい ・ 街歩きした時にお寺や遺跡巡り（小山駅 or 市役所に駐車） ・ 文化面での硬さを感じている。 ・ 自然環境は良好です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨でも来れるような施設がある ・ 夏でも冬でも遊べるような場所 ・ 時間を潰せるところ ・ 長期滞在できる場所 ・ 休む場所 ・ 車がなくて移動できると便利 ・ お金がかからず遊べる場所 ・ 省エネを目指す ・ 知名度を上げる工夫 ・ 地域の特色が出るとよい ・ 文化的な施設や文化人を呼び込む取り組みがあるとよい ・ JR の小山南駅の設置 ・ 「文化」がない ・ 防災 ・ このままでいい ・ お金の無駄ではないか
	10	16

市民へのアンケート調査票

問1. あなたご自身のことについて、お聞きします。

お住まい	() 大字 () 町 () 丁目
性別	1 男性 2 女性
年齢	1 15～19歳 2 20～29歳 3 30～39歳
	4 40～49歳 5 50～59歳 6 60～64歳
	7 65～74歳 8 75～84歳 9 85歳以上

問2. 高岳引込線の沿線地域について、お聞きします。
地域の魅力は何だと思いますか。(主なものを1-2選択)

- 1 小山駅に近く利便性がよい
- 2 田んぼなどの緑が豊か
- 3 診療所などが近くあって安心できる
- 4 イオンに近く買い物などが便利
- 5 白鷲大学や小山高専などの教育・研究機関が立地
- 6 ものづくりの工場や企業が集まる
- 7 その他具体的に ()

問3. 高岳引込線に路面電車を走らせることについて、お聞きします。(沿線のまちは今のままと仮定)

(1) その場合、小山市にどんなメリットがあると思いますか。(右図を参考に複数選択)

- 1 高齢者等の公共交通の利用機会の増加
- 2 環境負荷の低減
- 3 中心部の駐車場渋滞緩和
- 4 まちのシンボルの創出
- 5 小山市への転入者の増加
- 6 その他具体的に ()

(2) どんな車両が走ったらよいと思いますか。(右の車両イメージを参考に1-2選択)

- 1 レトロ
- 2 近代的
- 3 その他具体的に ()

運行イメージ

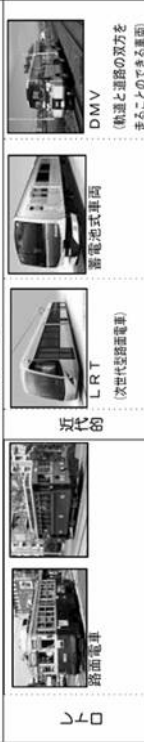
- ・延長：4.8km (小山駅東口～御栗光高岳)
- ・所要時間：片道15～20分
- ・運行時間帯：JR小山駅の始発～終電
- ・停留所：9箇所程度(約600m間隔)
- ・運路沿滞に巻き込まれることなく、時刻通りに運行

※この内容は現段階の想定であり、決定事項ではありません。



既存施設 凡例	
高専・大学	高岳引込線
工場	JR線
市役所・出張所	検討施設 凡例
高齢者交流施設	停留所
子育て支援施設	

車両イメージ



(3) 今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
(沿線の新しいまちづくりや市民の交流や強い場のづくり、にぎわいづくりなどに関する自由な意見やアイデア)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

2.5 調査結果のまとめ

(1) 高岳引込線の沿線地域について

●立地特性に起因する利便性の良さが評価されている

- 高岳引込線の沿線地域は、小山駅や商業施設に近接する利便性の良さが魅力と認識されている。
- 特に若い世代は小山駅に近接する利便性を評価し、高齢の世代は商業施設が近接する利便性を評価している。

●マイカーに頼らないライフスタイルの実現が望まれている

- 沿線地域は、普通自動車免許所有率と自動車保有率(家族共有の車を含めた値)がともに8割に達するとともに、通勤や買物などの外出時に6割がマイカーを使う車社会である。
- しかし、人口減少や高齢化の問題も相まって、過度に自動車に頼らないライフスタイルに転換することが重要と認識されている。

●地域内公共交通の充実が強く求められている

- 車社会からの脱却に向け、高岳引込線の有効活用と地域内の公共交通の充実による地域交通の機能強化・拡充が強く求められている。

●まちの魅力向上（都市機能の充実）が求められている

- また、地域内は、歩いて楽しめる魅力に欠けることや活気やにぎわいが希薄であるなど、まちの機能面の課題も問題視されている。
- 住環境の維持・向上をはじめ、まち巡りを楽しめる環境づくり、子どもや学生・子育て世代や高齢者などの多世代の居場所づくり、飲食や物販などの商業施設の誘致などによる都市機能の充実が求められている。
- 特に、若い世代や高齢者は居場所づくりを求め、中年層は住環境の維持・向上を求める。

●人口減少や高齢化社会にあっても豊かに暮らせるまちへ

- 将来は、過度に自動車に頼ることなく、自然と共生しながら歩いて健康で心豊かに暮らせるまちになることが希望されている。
- 高齢の世代ほど、自然との共生や健康で心豊かなまちを指向する傾向がある。一方、若者は、人や情報、技術が集まり研究やものづくりが活性化したまちを望む傾向がある。

(2) 高岳引込線に路面電車を走らせることについて

●200 円以下の運賃で 1 時間に 2 本の運行に需要が集中

- 高岳引込線に路面電車を走らせることを想定した場合、運賃は 200 円以下、運行本数は 1 時間に 2 本(上下それぞれ)を希望する意見が大半を占める結果となった。

●車両はレトロと近代的に意見が分かれるが、沿線住民や若い世代は近代的な車両を指向

- 乗りたいと思う車両は、レトロと近代的に意見が分かれた。
- 沿線住民は、市民や市外に比べ、近代的な車両を求める（市内 38%・市外 36%に対し、沿線住民 46.7%）。また、若い世代は、レトロより近代的な車両を求める。

●買物や娯楽・レジャーで小山駅に向かう利用が見込まれる

- 路面電車は、通勤・通学のシーンではなく、買物や娯楽・レジャーで利用する意見が最多で過半数を占める結果となった。
- 小山駅に向かう上り利用のニーズが高く、東ニュータウン付近から乗車して小山駅で降車する利用ニーズが特に大きい。

●マイカー利用者の約半数は週 1 日以上利用する意向がある

- 利用頻度については、約 8 割が月に 1 日以上利用する意向がある。また、週 1 回以上の利用意向が半数にのぼる。
- 特に、若者や高齢者、免許を持っていない方、普段公共交通を利用している方、通勤・通学や買物や通院・見舞いの利用を想定されている方は利用頻度が比較的高い。
- 一方、普段マイカーを利用している方も 8 割近くが月に 1 日以上利用し、半数近くが週に 1 日以上利用する意向があり、公共交通への転換が見込まれる。

●高齢者等の公共交通の利用機会の増加等に期待が寄せられている

- 運行メリットとしては、高齢者等の公共交通の利用機会の増加を挙げる意見が最多で半数近くを占める。
- 特に、高齢な世代は公共交通の利用機会の増加を求め、若い世代は環境負荷の低減や中心部の駐輪場の混雑緩和、まちのシンボルの創出などの波及効果に比較的期待を寄せている。

●企業や学校は期待を寄せる一方、運行条件や操業等への影響を課題と認識

- 運行メリットを感じ期待を寄せる企業がある一方、交代制の勤務形態に合うダイヤ設定や適切な運賃設定、通勤や搬入出時の車両出入りへの影響などを課題と考えており、実際に運行してみないとわからないとする意見もある。
- 小山高専は、自転車等に替わる安全安心な生徒の交通手段として、高岳引込線の路面電車に期待を寄せている。

【参考資料】

沿線の小中学校へのアンケート調査結果

小山高専との連携協定業務において、沿線の小中学生にアンケート調査を実施した。

(1) 実施概要

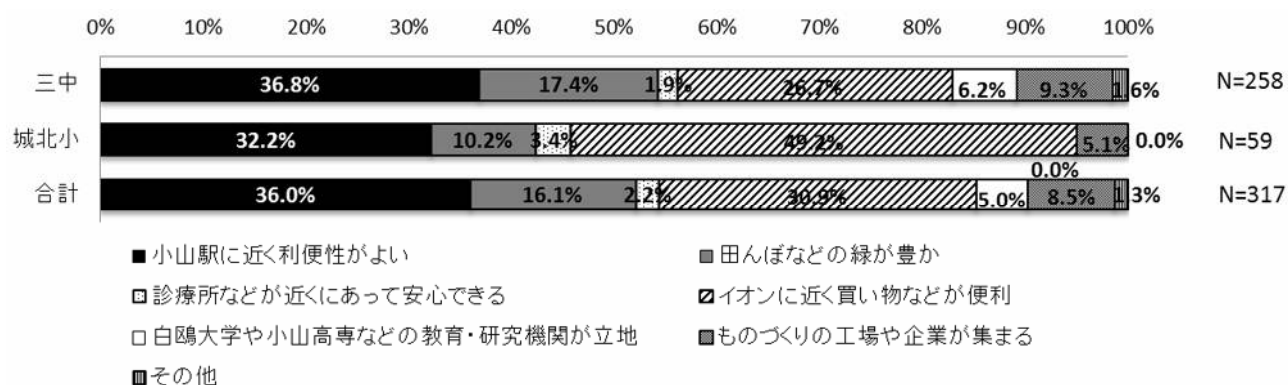
- ①調査日 2016年10月中旬
- ②調査対象
 - ・小山市立第三中学校 2年生 278名
 - ・小山市立城北小学校 6年生 60名
- ③調査方法 学校に訪問して説明を行い、調査票を配布してその場で回収
- ④調査内容
 - ・高岳引込線の沿線地域の魅力
 - ・高岳引込線に路面電車を走らせることについて
(運行メリット、車両イメージ、自由な意見)

(2) 実施結果

問1. 沿線地域の魅力（択一）

地域の魅力としては、「小山駅に近く利便性がよい」と「イオンに近く買い物などが便利」が多くなっている。

中学生と小学生を比べると、「イオンに近く利便性がよい」は、中学生より小学生の割合が大きい。一方、「田んぼなどの緑が豊か」や「白鷗大学や小山高専などの教育・研究機関が立地」や「ものづくりの工場や企業が集まる」は、小学生より中学生の割合が比較的大きい。



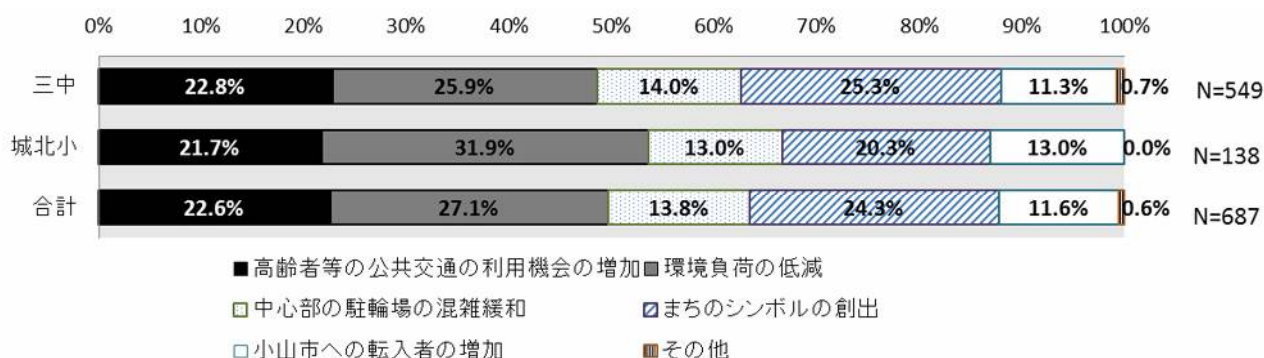
項目名	三中学生	城北小学生	合計
小山駅に近く利便性がよい	95	19	114
田んぼなどの緑が豊か	45	6	51
診療所などが近くにあるので安心できる	5	2	7
イオンに近く買い物などが便利	69	29	98
白鷗大学や小山高専などの教育・研究機関が立地	16	0	16
ものづくりの工場や企業が集まる	24	3	27
その他	4	0	4
合計	258	59	317

問2. 高岳引込線に路面電車を走らせることについて

①運行メリット（小山市全体へのメリット）（複数選択）

高岳引込線に路面電車を走らせることのメリットは、「環境負荷の低減」とする割合が最も高く、「中心部の駐輪場の混雑緩和」の割合も高かった。

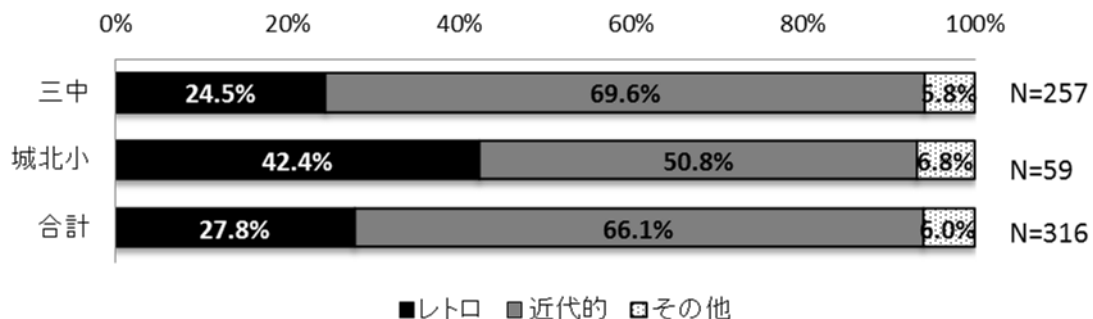
中学生と小学生はおおむね同傾向であるが、「環境負荷の低減」は中学生より小学生の割合が比較的大きい。一方、「まちのシンボルの創出」は小学生より中学生の割合が比較的大きい。



項目名	三中		城北小		合計	
高齢者等の公共交通の利用機会の増加	125	48.4%	30	50.8%	155	22.6%
環境負荷の低減	142	55.0%	44	74.6%	186	27.1%
中心部の駐輪場の混雑緩和	77	29.8%	18	30.5%	95	13.8%
まちのシンボルの創出	139	53.9%	28	47.5%	167	24.3%
小山市への転入者の増加	62	24.0%	18	30.5%	80	11.6%
その他	4	1.6%	0	0.0%	4	0.6%
合計	549	100.0%	138	100.0%	687	100.0%

②どんな車両が走ったらよいと思うか（択一）

小中学生共通でレトロより近代的な車両の割合が大きくなっている。



項目名	三中		城北小		合計	
レトロ	63	24.5%	25	42.4%	88	27.8%
近代的	179	69.6%	30	50.8%	209	66.1%
その他	15	5.8%	4	6.8%	19	6.0%
合計	257	100.0%	59	100.0%	316	100.0%

③自由な意見

	第三中学校	城北小学校
効果や 期待 36	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物や駅に行きやすくなるので良いと思う ・小山駅に行きやすくなる ・車の免許を持ってない人にとって良いと思う ・イオンの近くで便利 ・高齢者が楽になると思う ・小山のいろいろなところに行くきっかけになる ・小山駅まで自転車でいかなくなるので便利 ・駅近くを利用する人が増えると思う ・雨の日など楽になる ・通勤、通学に利用できて便利 ・夕方、道路が混まなくなると良いと思う ・三中にも通るので、授業参観にたくさんの方が来れると思う ・遠いところへ行けるようになる ・行動が楽になる ・便利になり良いと思う ・小山市が住みたい街になるので良いと思う ・小山市の雰囲気が変わると思う ・小山市のアピールすることが増えて良いと思う ・小山市のシンボルになり、有名になり良いと思う ・小山市のシンボルになり、観光客や住む人が増えると思うので良いと思う ・路面電車を走らせることは良い ・LRT 導入後、はじめは賑やかになっても、後々利用者が少なくなったら意味がないので、これから整備して欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がみんな使うと思う

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが高校生になるまでに完成してほしい ・2年くらいの間にできてほしい ・実現してほしい ・乗ってみたい ・利用する ・利用をどんどんしていきたい 	
	35	1
反対意見 5	<ul style="list-style-type: none"> ・バスで十分 ・やらなくてよい ・停留所付近に何もないので乗らなそう ・住宅街にはうるさいので走らない方がよい ・距離が短いので意味がない 	
	5	0
運行形態 (料金、本数、 時間等) 31	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃を安くしてほしい ・料金を安くして、乗りやすく綺麗な街にしてほしい ・運賃を学生や高齢者にはやすくする ・やすいほうが乗りやすい ・小山市民は料金を安く ・学生は無料にしてほしい ・子供でも払える値段で運行してほしい ・金額をもっとはつきりさせる ・安ければ利用が増える ・始発と終電の時間を考えてほしい ・本数を多く ・休日の本数を10分に1本に増やしてほしい ・30分に1本通してほしい ・利用しやすい時間帯に走らせるとよい ・24時間走らせてほしい ・急行の電車がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーヴェストのバスのように無料にしてほしい
	30	1
路線 112	<ul style="list-style-type: none"> ・工場ばかりではなくて、緑の豊かな景色が見えるようにしてほしい ・小山全体に路面電車を通してほしい ・大きなショッピングセンター(イオン、 	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングセンターの近くに線路を通してほしい ・イオンに通してほしい ・ハーヴェストに行けるようにしてほしい

	<p>スタジアム) に通してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーヴェストに通してほしい ・イオン、ハーヴェストに通してほしい ・イオンや大きいお店に通してほしい ・今の路線以外は増やさなくて良い ・50号に通してほしい ・犬塚公園のほうに通してほしい ・6番の停留所に家の後ろ辺りにきてほしい (アンケート用紙に印あり) ・路線を整備 ・一方通行にするのですか ・中久喜側に通してほしい ・いろいろな場所、遠いところに通してほしい ・県南体育館に通してほしい ・PR したいなら、大通りを走った方が良い ・線路を伸ばしてほしい ・複数ルートがある方が便利だと思う ・広範囲に走らせると良い ・高専やイオンなどに直通のほうが利用者が増えると思う ・もっと地域のほうまで線路を伸ばしてほしい ・学校やショッピングセンターに停留所がほしい ・大型ショッピングセンターに止まる ・小山市一周 ・大谷北小まで伸ばしてほしい ・停留所6番からもっと北へ伸ばしてほしい ・イオンや高専に通してほしい ・10箇所目の停留所にイオンがあった方が良い ・もっと長い距離を走らせてほしい ・いろいろな場所を回してほしい ・停留所は商業施設の前にもあった方が、家族連れや若者がよく利用すると思 	<ul style="list-style-type: none"> ・小山中に通してほしい ・ハーヴェストなどいろいろな場所で乗れるように線路を増やしてほしい ・小山駅に通してほしい ・お店に止まると良い ・イオンやハーヴェストに簡単に行けるように路面電車を通してほしい ・買い物のできる場所に通してほしい
--	--	--

	<p>う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも利用できるように、もっといろいろな場所に止まってほしい ・小山駅の反対側にも線路を引いてほしい ・小山市全体に路線を伸ばした方がいい ・高齢者に向けつくるのであれば、少し離れた場所にも線路をつくる ・スポーツできる場所や観光地に走らせた方がいい ・50号まで伸びると便利 ・距離が短いので、もっと伸ばしてほしい ・学校の通学路、会社などに通してほしい ・小山市の人が集まりやすい場所に走らせた方がいいと思う ・路線を増やしてほしい ・お店に通してほしい ・走らせる場所が増えたら良いと思う ・走行距離が短い ・お店の近くに通してほしい ・土塔の方にも LRT を通してほしい ・南の住宅街にも通した方がいい ・店と店をつなげてほしい 	
	99	13
<p>停留所 41</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな場所から乗れるようにしてほしい ・駅をつくってほしい ・停留所はいくつつくるのですか ・皆んなが利用しやすい停留所にしてほしい ・停留所は雨風が凌げるようにしてほしい ・6番の停留所に三中の名を取り入れてほしい ・停留所に屋根をつけてほしい ・停留所を増やしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・停留所にベンチがあると良い ・停留所にいろいろな施設をたくさんつけてほしい ・いろいろな場所に止まってほしい ・途中で降りて、買い物や休憩ができるようにする ・停留所に屋根があると良い ・待っている人が楽なように休憩所をつくる ・停留所をつくったほうが良い

	<ul style="list-style-type: none"> ・県営住宅地付近にも停留所があれば良い ・家の近くに停留所がないため乗りにくい ・停留所を犬塚にほしい ・停留所に名物（イチゴなど）を置いた方が良い ・停留所にベンチ、屋根をつけてほしい ・学校ごとに停車 ・停留所にベンチがほしい ・停留所をいろいろなところに増やしてほしい（イオンなど） ・停留所の位置が変 ・値段が安く、停留所に屋根がある ・停留所に椅子（5～8個）電気（複数）がいる ・停留所を減らしてはどうか ・住宅街の近くに停留所をたくさんつくってほしい ・8～9間の停留所の間隔が広いためもうひとつ停留所がほしい ・停留所に椅子、屋根、雨が降った時に濡れない部屋がほしい ・停留所を広く 	
	29	12
車両 13	<ul style="list-style-type: none"> ・おやまくま、さのまるのクッションを入れてほしい ・車両は見た目はレトロで、性能は近代の方がお年寄り嬉しいと思う ・座席はボックス席があって良い ・座席を眠れるような気持ちの良い座り心地にしてほしい ・天井が空く車両が良い ・コンビニを中に入れてほしい 車両内にトイレや、買い物のできる場所があると良い ・レトロは田んぼに溶け込めて良い ・車両に小山市のゆるキャラ（おやまく 	<ul style="list-style-type: none"> ・中古の電車を使っても内装は綺麗にしてほしい ・緑やグレーの色が良い

	<p>ま) をデザインしてほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆んなが乗りやすいよう、座りやすい椅子にすべき 	
	11	2
<p>その他 路面電車の 意見 18</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地域に知らせて多くの方に利用してほしい ・色々な地域の人に知ってもらう ・路面電車のなかでジュースなどを販売してほしい ・電車内にカフェ（スタバ）、雑誌がほしい ・路面電車のゆるキャラがいたら面白い ・トレインマークにおやまくまを使うとシンボルになって良い ・費用は安く ・費用がかかるのなら、行ける場所を増やしてほしい ・おしゃれなものが良い ・駅弁がほしい ・Suica が使えると良い ・電気を使う場合、消費電力を少なくしてほしい ・災害時でも走れる電車 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人に乗れる電車が良い ・犬なども一緒に乗れるようにしてほしい ・乗っていて飽きないような電車 ・楽しめる電車が良い
	14	4
<p>他の交通機関 への影響、 課題 18</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路を広げなくてはいけなくなると思う ・イオン付近の交通量の多い場所で、車が止まることが増える ・駐輪場がほしい ・停留所に貸し出し自転車を置いて、どこの停留所でも貸し借りができれば良い ・停留所に駐輪場があると良い ・停留所に駐輪場があると良い（多め） ・各駅につながるタクシーや小型バスもあると良い ・停留所8番からイオンまでのシャトルバスがあったら便利 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車が通りやすくしてほしい ・道路をもっと滑らかにしてほしい ・自転車が通りやすくしてほしい ・踏切で待たないようにする

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 停留所に自転車があつて、サイクリングコースをつくってほしい ・ 観光するのに貸し自転車があると良い 	
	14	4
安全性・バリアフリー 9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全面が気になる ・ 安全に運転して、事故がないようにしてほしい ・ 交通事故がないと良い ・ 車いすの人や高齢者に乗りやすくした方が良い ・ 小山市は電気が少なくて街が見えない ・ どの年代の人にも利用しやすい電車 ・ 車椅子の人でも乗りやすい電車 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電車の近くに柵をつけて、目の不自由な方などが安全に乗れるようにする ・ 安全にする
	7	2
騒音・振動 23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静かな電車にしてほしい ・ 振動がこないようにしたら良い ・ 防音について気を配ってほしい ・ 騒音がなく、音の静かな電車が良い ・ 家が近いので、騒音が心配 ・ 騒音がきになる ・ うるさそう ・ 音の小さな電車 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静かな環境にやさしい電車を走らせてほしい ・ 揺れの少ない電車
	11	12
環境美化 10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 停留所に思川桜などを植えると、花見客などが集まると思う ・ 停留所に木や思川桜などを植えて、華やかにしてほしい ・ 線路の周りに桜などを植えて賑やかにしてほしい ・ 周りの景色綺麗に、自然にしてほしい ・ 道が狭い、汚いところがあるので、街を綺麗にする活動をすると良い ・ 道を広く、草を刈ってほしい ・ 線路の周りに花を植えてほしい ・ 環境面では良い事だと思う ・ 電車から綺麗な景色が見えたら良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみゼロの街 ・ 綺麗な街
	10	0
商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストコをつくってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お店を増やしてほしい

<p>の誘導 100</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・映画館、大きなスーパー、デパートをつくってほしい ・駅ビルのお店を増やしてほしい ・小山市に洋服のお店がほしい(WEGO) ・スポッチャをつくってほしい ・ファッション系のお店を増やしてほしい ・お店を増やしてほしい ・駅の近くにお店を増やしてほしい ・ロブレ復活 ・ロブレ復活(ドンキ) ・ショッピングモール、明るい商店街をつくってほしい ・コンビニがあってほしい ・近くにコンビニか売店があればさらに安心できる ・大きいデパート ・停留所付近が工場ばかりなので、お店をつくった方がよい ・ショッピングモールを増やしてほしい ・近くに大きなショッピングモールをつくってほしい ・近くにデパートがほしい ・近くにデパートがやお店があるとよい ・サッカー用品店があるとよい ・アウトレットをつくってほしい ・コンビニや若い人に人気のお店が近くにあるとよい ・イオンの中のお店を増やしてほしい ・みんなが楽しく安全に遊べるお店を増やしてほしい ・気軽に遊べるお店を増やしてほしい ・近くに便利なものや、お店がほしい ・小山駅の近くにショッピングモールを増やすなどして栄えてほしい ・駅の近くに大型ショッピングモールがほしい ・中学生が楽しめるような、アウトレッ 	<ul style="list-style-type: none"> ・文房具のお店 ・遊べるところをもっとつくってほしい ・ロブレなどにブランド(レピピ、アルマリオ、Lovetoxic、ピンクラテ)を入れてほしい ・ブランド服の店がほしい(レピピ、Lovetoxic、ピンクラテ) ・駅の近くに仮面ライダー専門店をつくってほしい ・おもちゃ屋をつくってほしい ・アウトレットのような大きな店を駅の近くにつくってほしい
--------------------	--	--

	<p>トなどを近くにつくってほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レイクタウンをつくってほしい ・原宿のような有名人気店をロブレに出店してほしい ・アウトレット、parco のようなショッピングセンターがほしい ・駅の近くにデパートがほしい ・イオンより大きい店があると良い ・大きい商業施設があれば住む人も使う人も増えると思う ・買い物のできる場所がほしい ・駅の近くにお店がほしい。 ・停留所付近に大きなショッピングモールがあると利用者が増えると思う ・ハーヴェストのような場所をつくってほしい ・気軽に寄れるカフェがあると若者は楽しい ・近くにコンビニを増やしてほしい ・雰囲気のあるカフェなど、お店をつくってほしい ・停留所付近にコンビニやお土産を買える場所があると良い ・駅近くにコンビニやスーパーなどを増やしてほしい ・絵に付近にお店が少ないので、増やした方が良い ・大型スーパーなど、市外、県外から人が多く来れるようになってほしい ・駅ビル、貸し自転車店、古本屋、アイスクリーム店をつくる ・駅ビルは大きすぎると邪魔で不便なので、大きすぎないのをつくってほしい ・駅や停留所付近に公共施設、お店を増やせば良いと思う ・停留所付近にいろいろなお店を建てる ・停留所の近くにコンビニがあると良い ・停留所の近くにコンビニ、レンタカー、 	
--	--	--

	貸し自転車があると良い ・ 停留所にコンビニ、道の駅をつくと良い ・ 利用者が多い停留所にはコンビニなどが必要	
	90	10
遊べる場所 楽しめる場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近くにプールがほしい ・ 大きな室内プールがほしい ・ ライブ会場がほしい ・ 停留所に遊ぶ場所（遊園地、水族館）をつくってほしい ・ 子供が遊べる場所を増やしてほしい ・ 遊園地がほしい ・ 年齢に関係なく遊べる場所増やしてほしい ・ 多くの遊べる場所がほしい ・ 中学生が遊べる遊園地やプールがあると良い ・ 遊べて楽しめる場所がほしい ・ 駅の近くにプールがほしい ・ 駅の近くに室内プールやスケートリンクなど、いろいろな楽しい場所がほしい ・ 駅近くに大きな室内プール（ウォータースライダーがある）をつくってほしい ・ 駅近くに大人も子供も楽しめるテーマパークをつくってほしい ・ 停留所付近にラウンド1、温泉、大型プールなどをつくってほしい ・ 小さな駅、プールや動物園など大きなものをドーンとつくってほしい ・ 停留所に子供でも楽しめる場所をつくってほしい ・ イオンやハーヴェスト以外にも遊べる場所がほしい ・ 近くに遊園地がほしい ・ 交通費をかけられない子供が遊べる場所がほしい ・ 駅近くに子供が楽しめる施設がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者がもっと遊びに来る街にしてほしい ・ 楽しく遊べる街 ・ 動物と触れ合える街 ・ 楽しい施設を増やす。

	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しめる場所をつくってほしい ・中学生が気軽に楽しめるところがほしい ・小山駅の映画館をもっと大きくしてほしい ・子供が楽しめる施設をつくってほしい ・テーマパークをつくってほしい 	
	32	4
スポーツ施設の整備 31	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツしやすい場所（テニス、野球）をつくって通してほしい ・多目的広場などバスケットボールコートをつくってほしい ・駅の近くにスポーツできる場所（ハンドボールコート、体育館、グラウンド）がほしい ・東京ドームのようなグラウンドをつくってほしい ・スポーツできるところを増やしてほしい ・ハンドボールコートをつくってほしい ・小山市の郊外の自然を生かして、観光地やサッカー場をつくってほしい ・沿線付近に店や運動場などを増やしたら良い ・スポーツが活性化できる施設が近くにあると良い ・運動場を増やしてほしい ・スポーツ場を増やしてほしい ・沿線付近に運動場、貸し自転車屋をつくってほしい ・皆が自由にスポーツできるところをつくってほしい ・誰でも借りられる運動場（体育館）があると便利 ・運動しやすいグラウンド、サイクリングコースをつくってほしい ・運動の場が少ない ・バトミントンの体育館をつくってほし 	<ul style="list-style-type: none"> ・清原球場のような球場をつくってほしい ・スポーツができる街 ・小山市に野球の球場をつくってほしい ・スポーツ競技場をつくってほしい ・スポーツがしやすい街 ・小山市に人工芝のサッカーグラウンドをつくってほしい

	<p>い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタジアム（野球、サッカー）を小山市につくってほしい 	
	25	6
<p>公園の整備 8</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園を増やしてほしい ・路面電車の近くに遊べる場所、公園を多くつくってほしい ・公園や遊べる場所が近くにあると良い ・沿線付近に大きな公園をつくってほしい ・スポーツができる大きな公園を増やして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園をつくってほしい ・大きい公園をつくってほしい ・大きい公園をふやしてほしい（遊具少なめ）
	5	3
<p>その他の施設 6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線付近に魅力的な場所をつくってほしい ・沿線付近にいろいろな施設を増やしてほしい ・多くの人利用できる場所をつくってほしい ・子育て施設があれば便利になり、若い人も小山市に住みたくなると思う ・停留所に夏は水の足湯、冬は温水の足湯がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・出井にもっと建築物をつくってほしい
	5	1
<p>小山駅駅前の活性化 8</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今の駅をもっといいものにしてほしい ・ロブレをもっと便利な場所に ・駅をもっと賑やかに（駅弁、イベント、遊べる場所） ・駅近くに大型施設をつくってほしい ・駅近くに避難施設があると良い ・駅近くにお店、教育機関をつくる ・安全な駅ビルにしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロブレをもっと賑やかに
	7	1
<p>まちの将来像 16</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京（渋谷）のように若い人がたくさんくる街にしてほしい ・東京（渋谷、新大久保）のように若い人がたくさんくる街にしてほしい ・皆が住みやすく、便利な街にしてほし 	<ul style="list-style-type: none"> ・近代的な都市にする ・近代的な都市にする ・小山市の住人が増えてほしい ・人口を増やしてほしい ・人口を増やしてほしい

	<p>い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人が楽しめるようにしてほしい ・田畑が多いので、建物を増やして都会的な街にした方がよい ・駅前だけを発展させるのではなく、小山市全体を発展させてほしい ・高齢者が安心して暮らせる市にしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・小山市に住む人が増えてほしい ・高齢者も楽しめるような街にほしい ・高齢者が住みやすい街 ・買い物をしやすくして、高齢者が買い物しやすくなるとよい
	7	9
<p>市のイメージアップ</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車に広告をつけて、小山市の良いところをアピールした方がよい ・マスコットキャラクターの印象が薄いので、もっとPRすべき ・はと麦、イチゴ、かんぴょうをPRすべき ・マスコットキャラクター、(イチゴ、かんぴょう、牛肉)をもっとPRすべき ・停留所に小山市の名物を置いた方が市のイメージアップになる 	
	5	0
<p>その他まちづくりに</p> <p>ついて</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi、ミラーを取り付けてほしい ・子供の目線から考えてほしい ・三中、城北小付近には、特別な策を考えてほしい ・街全体が暗い ・工場が沿線付近に多すぎる 	
	5	0

アンケート調査票

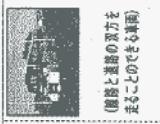
運行イメージ

- ・ 延 長：4.8km (小山駅東口～新築光通駅)
- ・ 所要時間：片道15～20分
- ・ 運行時刻表：JR小山駅の始発～終電
- ・ 停留所：9箇所程度 (約600m間隔)
- ・ 道路状況に巻き込まれることなく、時刻通りに運行

既存施設 只例	
高専 大学	高専引込線
工場	工場
市役所・出張所	駅前集積 只例
AAA 高齢者交流施設	学校
子育て支援施設	



路面電車 車両イメージ



問1 高岳引込線の沿線地域について、お聞きします。

地域の魅力は何だと思いますか。(12選択)

- 1 小山駅に近く便利
- 2 田んぼなどの緑が豊か
- 3 診療所などが近くにあって安心できる。
- 4 イオンに近く買い物などが便利
- 5 白鷲大学や小山高専などの教育・研究機関がある。
- 6 ものづくりの工場や企業が集まっている。
- 7 その他具体的に ()

問2 高岳引込線に路面電車を走らせることについて、お聞きします。

(1) 小山市にどんな良い点があると思いますか。(複数選択)

- 1 高齢者等が公共交通を使う数が増える。
- 2 排気ガスが減り環境がよくなる。
- 3 駅の駐輪場の混雑が少なくなる。
- 4 小山市のシンボルになる。
- 5 小山市に住みたくなくなり住む人が増える。
- 6 その他具体的に ()

(2) どんな車両が走ったらよいと思いますか。(12選択)

- 1 レトロ
- 2 近代的
- 3 その他具体的に ()

(3) 路面電車が走った場合について、自由な意見を書いて下さい。

()